

計算社会科学研究センター
2020 年度活動報告書
(2020 年 4 月～2021 年 3 月)



目次

I. 計算社会科学研究センターの概要-----	P2
II. 組織の編成-----	P3
-1 構成と人員	
-2 研究部門と支援部門	
III. 最近における特記事項-----	P5
-1 計算社会科学研究センターの改組	
-2 国立大学附置研究所・センター会議に入会	
-3 神戸大学基金 計算社会科学研究センター研究支援事業募金設置	
-4 計算社会科学会設立に貢献	
-5 ジャーナル刊行-----	P6
-6 国際カンファレンスを毎年開催-----	P7
-7 大型科研費・外部資金獲得実績-----	P8
-8 スーパーコンピュータ京を展示	
-9 若手・女性研究者の育成-----	P10
IV. リサーチフェロー-----	P10
V. 研究業績と活動状況-----	P11
VI. 今後の展望と方針-----	P60

I. 計算社会科学研究センターの概要

計算社会科学研究センター CCSS (Center for Computational Social Science) は、社会科学、計算科学、データサイエンスの融合領域である計算社会科学における共同研究を推進し、計算科学とデータサイエンスに基づいた新しい社会科学としての計算社会科学の確立と体系化を目指し、世界的に同領域を牽引する国際研究拠点を形成することである。

本センターは、2017 年 3 月 15 日に経済経営研究所の部局内組織として創設され、2018 年 4 月 1 日に全学基幹研究推進組織として設置された。

計算社会科学研究センターは、上記の目的を達成するために次の事業を行う。

- 計算社会科学における先端研究
- 計算社会科学における研究を促進するための技術開発
- 計算社会科学における研究を促進するためのデータベース作成
- その他、計算社会科学における学術研究の推進と普及のために必要な事業

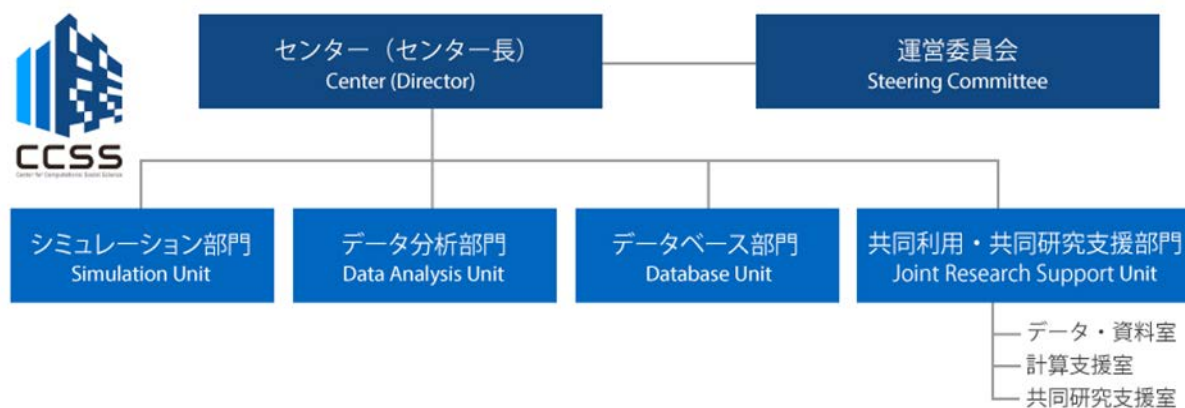
計算社会科学研究センターは、上記の事業を、以下の部門において行う。

1. シミュレーション部門
2. データ分析部門
3. データベース部門
4. 共同利用・共同研究支援部門 (2021 年 4 月設置)

計算社会科学は、近年急速に発展しているビッグデータや計算技術に基づく「新しい社会科学」である。オンライン上で取得可能なビッグデータ、コンピュータ・シミュレーション、ネットワーク分析を中心とした高度な計算技術を用いた社会現象の定量的分析であり、近年急速に発展している。本センターは、計算社会科学に特化した唯一の研究センターであり、他大学にない独自性の高いものである。

Ⅱ. 組織の編成

-1. 構成と人員



運営委員（2021 年 4 月 1 日現在）

氏名	職位	部門	所属
上東 貴志	センター長 教授	シミュレーション部門	計算社会科学研究センター
家森 信善	副センター長 教授	データベース部門	経済経営研究所
西谷 公孝	副センター長 教授	データ分析部門	経済経営研究所
柴本 昌彦	准教授	データ分析部門	計算社会科学研究センター
中川 丈久	教授	データ分析部門	法学研究科
小林 照義	教授	データ分析部門	経済学研究科
栗木 契	教授	データ分析部門	経営学研究科
貝原 俊也	教授	シミュレーション部門	システム情報学研究科
大石 哲	教授	シミュレーション部門	都市安全研究センター
島村 靖治	教授	データ分析部門	国際協力研究科

-2. 研究部門と支援部門

シミュレーション部門

社会経済モデルのシミュレーションに基づく計算社会科学領域の研究を行う。

職位	研究者氏名		学域
教授	上東 貴志	Takashi KAMIHIGASHI	先端経済経営研究学域
教授	北野 重人	Shigeto KITANO	先端経済経営研究学域
教授	飯塚 敦	Atsushi IIZUKA	工学域
教授	大石 哲	Satoru OISHI	工学域
教授	貝原 俊也	Toshiya KAIHARA	システム情報学域
教授	横川 三津夫	Mitsuo YOKOKAWA	システム情報学域
教授	佐野 英樹	Hideki SANO	システム情報学域
講師	榎本 大悟	Daigo UMEMOTO	先端経済経営研究学域

データ分析部門

大規模データに基づく計算社会科学領域の研究を行う。

職位	研究者氏名		学域
教授	西谷 公孝	Kimitaka NISHITANI	先端経済経営研究学域
教授	中川 丈久	Takehisa NAKAGAWA	法学域
教授	栗木 契	Kei KURIKI	経営学域
教授	小林 照義	Teruyoshi KOBAYASHI	経済学域
特命教授	西村 和雄	Kazuo NISHIMURA	先端経済経営研究学域
准教授	柴本 昌彦	Masahiko SHIBAMOTO	先端経済経営研究学域
准教授	谷口 隆晴	Takaharu YAGUCHI	システム情報学域
准教授	加藤 諒	Ryo KATO	先端経済経営研究学域
講師(研究機関研究員)	佐々木 洋介	Yosuke SASAKI	先端経済経営研究学域

データベース部門

計算社会科学に関わるデータベースの構築を行う。

職位	研究者氏名		学域
教授	家森 信善	Nobuyoshi YAMORI	先端経済経営研究学域
教授	島村 靖治	Yasuharu SHIMAMURA	国際協力学域
准教授	高槻 泰郎	Yasuo TAKATSUKI	先端経済経営研究学域
特命講師	小代 薫	Kaoru KOSHIRO	先端経済経営研究学域
特命講師	田中 克幸	Katsuyuki TANAKA	先端経済経営研究学域

共同利用・共同研究支援部門

職位	研究者氏名		所属
教授	伊藤 宗彦	Munehiko ITOH	データ資料室
講師	國本 光正	Terumasa KUNIMOTO	データ資料室
教授	濱口 伸明	Nobuaki HAMAGUCHI	計算支援室
助教	西森 茂雄	Shigeo NISHIMORI	計算支援室
助手	内田 並子	Namiko UCHIDA	計算支援室
教授	岩佐 和道	Kazumichi IWASA	共同研究支援室
助手	中田 未央	Mio NAKATA	共同研究支援室
助手	中井 あゆみ	Ayumi NAKAI	共同研究支援室

Ⅲ. 最近における特記事項

1. 計算社会科学研究センターの改組

計算社会科学研究センターの改組を行い、2021 年度新たに共同利用・共同研究支援部門を設置する。

シミュレーション部門

社会経済モデルのシミュレーションに基づく計算社会科学領域の研究を行う。

データ分析部門

大規模データに基づく計算社会科学領域の研究を行う。

データベース部門

計算社会科学に関わるデータベースの構築を行う。

共同利用・共同研究支援部門（2021 年 4 月～）

◇データ・資料室

◇計算支援室

◇共同研究支援室

2. 国立大学附置研究所・センター会議に入会

国立大学法人に設置された 100 の附置研究所と研究センターで構成されている「国立大学附置研究所・センター会議」の会員に申請し、2021 年度より会員となる。

3. 神戸大学基金 計算社会科学研究センター研究支援事業募金設置

計算社会科学研究センターでは、これまでの社会科学では扱えなかった大規模データや高度な計算技術を用い、社会経済現象の定量的研究を行い、より良い社会の実現に貢献するため、社会リスクの推定と可視化、効率的な情報伝達・意思決定システム構築といった共同研究を推進し、人材育成・研究設備の充実によって、世界的な研究の進展を図っている。

計算社会科学における先端研究に勤しむ国内外の研究者に、また当センターの活動に期待を寄せる次世代の研究者へご支援いただくため「神戸大学基金」の一つに「計算社会科学研究センター研究支援事業募金」を立ち上げる。

4. 計算社会学会設立に貢献

日本において計算社会科学の正式な学会はまだ存在していなかった。そこで、計算社会科学研究センターは、学会設立に向け中心的役割を果たす。学会の前身である「計算社会科学研究会」が 2016 年に発足した後に研究会の活動に協力し、2021 年 3 月、「第 5 回計算社会科学ワークショップ」開催後、「計算社会科学研究会」から「計算社会学会」に組織名を変更、学会設立へと導く。

5. ジャーナル刊行

平成 30 (2018) 年 計算社会科学の国際的専門学術誌『Journal of Computational Social Science』を創刊。

神戸大学計算社会科学研究センター (CCSS: Center for Computational Social Science。以下「CCSS」という。) と経済経営研究所の協力の下で、平成 30 (2018) 年 1 月にこの領域において世界初となる専門学術誌『Journal of Computational Social Science』(Springer 社刊 以下「JCSS」という。) が創刊され、上東貴志計算社会科学研究センター長が初代編集委員長に就任した。

計算社会科学に特化した世界初の査読付学術雑誌として、世界中から多数の論文が投稿されており、創刊から 3 年間で 100 本以上の論文を掲載している。計算社会科学研究の発表の場として既に国際的に広く認識されており、優れた研究成果を世界へ発信する場となっている。JCSS の編集委員は、世界的に活躍する 26 名の研究者からなり、その所属機関国は世界 14 か国に及ぶ。以下の図は、JCSS の掲載論文者の所属機関国の詳細で、計算社会科学者の国別分布を如実に反映しており、JCSS が世界的に広く開かれた国際学術雑誌であるだけでなく、国際的需要が極めて高いことも表している。

2020 年度 Emerging Sources Citation Index として、Web of Science に収録されている。





Journal of Computational Social Science

[Journal home](#) > [Editors](#)

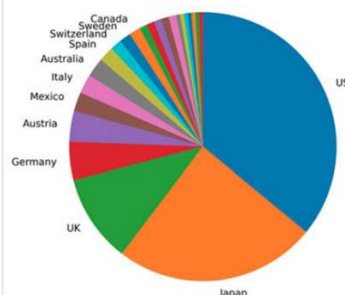
Editors

Editor in Chief

Takashi Kamiigashi, Center for Computational Social Science (CCSS) and Research Institute for Economics and Business Administration (RIEB), Kobe University, Japan

発行状況と掲載論文数

				掲載論文数
2021	Volume. 4	issue1	May-21	15
2020	Volume. 3	issue2	Nov-20	8
	Volume. 3	issue1	Apr-20	12
2019	Volume. 2	issue2	Jul-19	12
	Volume. 2	issue1	Jan-19	11
2018	Volume. 1	issue2	Sep-18	13
	Volume. 1	issue1	Jan-18	14



JCSS 掲載論文著者の所属機関国の詳細

6. 国際カンファレンスを毎年開催

計算社会科学研究センターでは、今後の計算社会科学を牽引する人材を養成するため、また、世界的に活躍する計算社会科学の研究者と若手研究者との交流や議論を交わす場を設けることを目的とし、毎年国際カンファレンスを開催している。

-1. 『CCSS School on Computational Social Science 計算社会科学入門』

2021年2月27日(土)28日(日)

神戸大学/Zoomによるオンライン配信

HOME » お知らせ » お知らせ » CCSS School on Computational Social Science 『計算社会科学入門』を開催しました

CCSS School on Computational Social Science 『計算社会科学入門』を開催しました

2021年03月10日

計算社会科学研究センターは、2021年2月27-28日に「CCSS School on Computational Social Science 『計算社会科学入門』」を開催しました。

3回目となる今回のCCSS School on Computational Social Scienceは、『計算社会科学入門』（島海不二夫編著/丸善出版、2021年1月）の出版に伴い、全12章の執筆者14名のうち11名の執筆者本人が内容を紹介しました。

執筆者は主に、計算社会科学会のメンバーで、情報学・社会学をはじめ、経済学・社会物理学・社会心理学と、多岐にわたる分野において第一線で活躍している研究者です。計算社会科学研究センター長の上東貞志教授も「第12章 計算社会科学の今後の展望と課題」を分担執筆しています。

報告の内容は、計算社会科学の経緯・特徴・魅力から、社会科学・情報技術・数理手法など専門的な内容までわかりやすく解説し、計算社会科学を研究するにあたり今後のヒントになる内容を紹介しました。本書にない興味深い報告も多数あり、日本全国、海外からも含め2日間で延べ300名以上の参加者が耳を傾けていました。

計算社会科学研究センターは、セミナー・シンポジウム・講演などを通じて社会に計算社会科学の研究成果や魅力を発信していきます。

(計算社会科学研究センター)

講演者リスト

- 笹原和俊准教授（東京工業大学環境・社会理工学院）
- 三浦麻子教授（大阪大学大学院人間科学研究科）
- 吉田光男准教授（筑波大学ビジネスサイエンス系）
- 島海不二夫教授（東京大学大学院工学系研究科）
- 瀧川裕貴准教授（東北大学大学院文学研究科）
- 小林哲郎准教授（香港城市大学メディアコミュニケーション学部/神戸大学大学院法学研究科）
- 水野貴之准教授（国立情報学研究所情報社会相関研究系/総合研究大学院大学複合科学研究科）
- 岡田勇准教授（創価大学経営学部）
- 高野雅典（株式会社サイバーエージェント）
- 石井晃教授（鳥取大学工学部）

-2. 『第5回計算社会科学ワークショップ (CSSJ2021)』

2021年2月27日(土)28日(日)

神戸大学/Zoomによるオンライン配信

22組の若手研究者、大学院生、学生等が計算社会科学に関する研究を発表した。

2日間にわたり延べ300名が参加した。

7. 大型科研費・外部資金獲得実績

●上東貴志 (教授・シミュレーション) :

- ① 国立研究開発法人科学技術振興機構 未来社会創造事業 探索加速型「超スマート社会の実現」領域 「社会リスク可視化システム、及び社会リスクに適切に対応する意思決定システムの開発」(研究代表者) 2020～2022年
- ② 文部科学省 科学研究費補助金：基盤研究 (S)「包括的な金融・財政政策のリスクマネジメント：金融危機から国際関係・災害リスクまで」(研究代表者) 2020～2024年度

●貝原俊也 (教授・シミュレーション)

- ① 国立研究開発法人科学技術振興機構 未来社会創造事業 探索加速型「超スマート社会の実現」領域「社会政策立案に向けたマルチスケール ABSS 手法」(研究代表者) 2020～2022年
- ② 兵庫県, 最先端技術研究事業 (COEプログラム)「応用ステージ研究」健康/運動/生活データの統合・解析・シミュレーションによる健康増進システムの開発 (研究代表者) 2020～2022年

●谷口隆晴(准教授・データ分析部門)

- ① 国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 CREST[数理的情報活用基盤領域](#)に研究課題「幾何学的離散力学を核とする構造保存的システムモデリング・シミュレーション基盤」(研究代表者) 2019～

8. スーパーコンピュータ京 を展示

計算社会科学研究センターは、『スーパーコンピュータ京』を使った研究に多く携わっており、今後、計算社会科学を担っていく学生達に『スーパーコンピュータ京』と触れる機会を提供する目的で、理化学研究所より無償譲渡を受け展示中である。



神戸大学と「京」



京コンピュータを開発し、
計算科学をリードする

神戸大学大学院システム情報学研究科

横川 三津夫 Mitsuo YOKOKAWA
神戸大学大学院システム情報学研究科教授



コンピュータの進歩は社会と私たちの生活に大きな変化をもたらした。特に、計算科学が幅広い分野で活用され、気象予測、防災・減災、生命科学、医療など幅広い分野で、数値計算によるシミュレーションは新たな知見を導き出す。高解像度の計算が複雑な現象を捉える。研究のスピードアップはコスト削減を通じて、学術分野だけでなく産業にも大きく貢献している。

横川教授は、2000年から我が国の最先端技術の発展を促進する理化学研究所のコンピュータ開発プロジェクトに参加し、次世代スーパーコンピュータ「京」の開発プロジェクトの部長を務めた。京としてシステム開発を完了した。京は「京」の生みの親の一人である。「京」は、2011年にTOP500において世界最高性能を達成するとともに、その後の計算科学の発展に大きく貢献した。



自然災害と共生できる防災・
減災パラダイムシフトに向けて

神戸大学都市安全研究センター

飯塚 敦 Atsushi IIZUKA
神戸大学都市安全研究センター長・教授



1995年の阪神淡路大震災、2011年の東日本大震災、連綿たる自然災害に直面し、知られていないこと、知られていないことで自然災害に悩まされていることは、もはや現実であり、共生できる防災策を見出すことは求められている。これを、研究テーマのひとつとしている飯塚教授。

そこで飯塚教授は、京コンピュータの最先端 ICT 技術を活用し、「都市防災とシミュレーション」をテーマに、神戸の約42万の人口とその基礎、地盤、地層、地層内の構造をコンピュータの高速処理能力で再現し、一瞬千倍とされる速度でシミュレーションをコンピュータで実行し、考えうる可能性をすべて検証し、防災策を導く。

東部の震災、東部の震災から、被害の最小化、災害の軽減、の進化を遂げるべく、国、自治体、研究機関、産業界と連携しプロジェクトを引き継ぎ推進する。



京から京岳へ

神戸大学大学院システム情報学研究科

坪倉 誠 Makoto TSUBOKURA
神戸大学大学院システム情報学研究科教授



約7年間の研究を経て「京」は、後継機「富岳」にバトンタッチされてからも研究の継承が図られた。

中でも新型コロナウイルスに関する研究は本格的な研究から注目を集め、神戸大学システム情報学研究科の学生も研究プロジェクトに参加し、京の活用について研究に取り組み、成果を発表した。

短期間に様々な状況で感染リスク低減策を提案するために、通常の感染シミュレーションの精度を向上し、これまでの計算機では困難だった「キャパシティコンピューティング」と呼ばれる一定期間に複数のシミュレーションを実行する手法で、高精度で大規模な感染シミュレーションを実現した。

さらに、様々な状況で感染リスク低減策を提案するために、通常の感染シミュレーションの精度を向上し、これまでの計算機では困難だった「キャパシティコンピューティング」と呼ばれる一定期間に複数のシミュレーションを実行する手法で、高精度で大規模な感染シミュレーションを実現した。



次世代シミュレーションを担う
研究者・技術者を育てる

神戸大学計算科学教育センター

計算科学教育センターは、大学院システム情報学研究科計算科学専攻の教育研究支援や理化学研究所計算科学センター（R-CCS）との連携協力関係を発展させつつ、スーパーコンピュータを用いた計算科学シミュレーションによる研究教育を推進する目的で平成26年4月に設置された。

当センターは、スーパーコンピュータを用いた共同利用やシミュレーションスクール、遠隔インタラクティブ講座などの計算科学教育を行うことにより、HPC分野の推進における「将来を担った計算科学技術に資する人材育成」に貢献するとともに、計算科学関連の大学や研究機関と連携し、全国的な計算科学教育の拠点に発展させることを大きな目標としている。



社会現象をビッグデータと
シミュレーションにより解明

CCSS 計算社会科学センター

上東 貴志 Takashi KAMIHIGASHI
神戸大学計算社会科学センター長・教授



「計算社会科学」は、オンライン上で取得可能なソーシャルデータを用いたネットワーク分析やテキスト分析、さらにエージェントベース・シミュレーション等を中心とした高度な計算技術を用いた社会現象の分析である。社会科学、データサイエンス、及び計算科学の新しい文理融合領域として近年急速な発展を遂げている。

「神戸大学計算社会科学センター」は、計算科学とデータサイエンスに基づいた新しい社会科学としての計算社会科学の確立と体系化を目指し、日本初の計算社会科学に特化した研究センターとして、2018年4月に設立した神戸大学計算社会科学センターとして設置された。スパコンによる大規模シミュレーションも重要な分析ツールとして活用している。



国産初の「コンピュータ」を展示
情報処理学会 分散コンピュータ博物館

神戸大学経済経営研究所

昭和16年に神戸市立大学に経営計算研究部が設置されて以来、研究所で使われてきた貴重な機器の一部を展示している。

現在、経済経営研究所第1階に経営機械化展示室を設け、経済経営研究所創立100周年を機に公開している。こちらでは歴史的にも貴重な機器を公開しており、経営計算室の発展が垣間見える。

2014年3月には、情報処理学会より分散コンピュータ博物館として認定された。

スーパーコンピュータが併用入りし、およそ100年間のコンピュータの発展の歴史が神戸大学で見ることが出来る。



9. 若手・女性研究者の育成

- (1) 榎本大悟 講師 シミュレーション部門
- (2) 田中克幸 特命講師 データベース部門
- (3) 佐々木洋介 講師(研究機関研究員) データ分析部門

※2020 年度、女性限定の若手研究者を公募しており、採用を予定している。

IV. リサーチフェロー

令和 3 年 4 月 1 日現在、18 名のリサーチフェローが所属している。

	研究者氏名	所属	職名	任命期間
1	Alain Barrat ※	CNRS, AixMarseille Univ	Professor	2018. 12. 1～2021. 11. 30
2	Ciro Cattuto ※	ISI Foundation	Scientific Director	2018. 12. 1～2021. 11. 30
3	Emilio Ferrara ※	Univ of Southern California	Assistant Research Professor	2018. 12. 1～2021. 11. 30
4	Petter Holme ※	Tokyo Institute of Technology	Specially Appointed Professor	2018. 12. 1～2021. 11. 30
5	Kimmo Kaski ※	Aalto UniversityDepartment of Computer Science	Professor	2018. 12. 1～2021. 11. 30
6	増田 直紀 ※	State University of New York at Buffalo	Associate Professor	2019. 8. 1～2022. 7. 31
7	Jesús Gómez Gardeñes ※	University of Zaragoza	Associate Professor	2019. 8. 1～2022. 7. 31
8	Corrado Di Guilmi ※	University of Technology Sydney	Senior Lecturer at the Economics Discipline Group	2020. 2. 1～2023. 1. 31
9	鳥海 不二夫	東京大学	教授	2020. 2. 1～2023. 1. 31
10	笹原 和俊	東京工業大学	准教授	2020. 2. 1～2023. 1. 31
11	石井 晃	鳥取大学	教授	2020. 2. 1～2022. 3. 31
12	瀧川 裕貴	東北大学	准教授	2020. 2. 1～2023. 1. 31
13	遠藤 薫	学習院大学	教授	2020. 2. 1～2023. 1. 31
14	藤原 義久	兵庫県立大学	教授	2020. 2. 1～2023. 1. 31
15	和泉 潔	東京大学	教授	2020. 2. 1～2023. 1. 31
16	野田 五十樹 ※	産業技術総合研究所	総括研究主幹	2020. 2. 1～2023. 1. 31
17	伊藤 伸泰	理化学研究所	チームリーダー	2020. 2. 1～2022. 1. 31
18	榎 剛史	株式会社ホットリンク	開発本部 R&D部長	2020. 3. 1～2023. 2. 28

※はJCSS編集委員

V. 研究業績と活動状況

教授 上東 貴志 (Takashi KAMIHIGASHI)

- ・ 計算社会科学センター/シミュレーション部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【著書（分担執筆）】

1. [「計算社会科学の今後の展望と課題」](#) 鳥海不二夫（編著）『計算社会科学入門』丸善出版 12 章 289-297 頁 2021 年 1 月

【論文】

■レフェリー付論文

1. “[Interchanging a Limit and an Integral: Necessary and Sufficient Conditions](#)”, Journal of Inequalities and Applications, Article Number 243, doi: 10.1186/s13660-020-02502-w, November 2020

□掲載予定論文 (Forthcoming)

1. “[Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model](#)” (with Ken-Ichi Akao, Hitoshi Ishii and Kazuo Nishimura), Pure and Applied Functional Analysis, forthcoming
2. “[Japan's Monetary Policy: A Literature Review and An Empirical Assessment](#),” (with Masahiko Shibamoto and Wataru Takahashi), Journal of Computational Social Science, forthcoming
3. “[Organizational refinements of Nash equilibrium](#),” (with Kerim Keskin and Cagri Saglam), Theory and Decision, forthcoming.

■掲載論文（査読なし）

□未掲載論文 (DP/WP)

1. “[Measuring Technological Competition among Big Five Using Patent Data: A Systematic and Scalable Approach Based on Information Retrieval Technology](#),” (with Katsuyuki Tanaka), Discussion Paper Series, No.DP2021-06, RIEB Kobe University, 21 pp., March 2021

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演）

1. （招待講演）「データ分析による新型コロナウイルスに関する政策評価」『第 1 回神戸大学 SDGs フォーラム 神戸大学 SDGs×あいおいニッセイ同和損保「誰一人取り残さない未来の街づくりを 考える」』 オンライン開催 2020 年 10 月 27 日

■モデレーター（主催/司会/座長/討論者/パネリスト）

1. （パネリスト）「座談会 3 経済活動と防災力向上をむすびつけるために」『科学者やエンジニアと共に事業構想する場をつくる防災減災の国際連続ワークショップ KOBE PEER WORKSHOP “MIRAI BOSAI”』 オンライン開催 2021 年 3 月 27 日

<社会活動>

■所属学会

1. 日本経済学会

2. 計算社会科学会
3. IEFS Japan
4. 数理経済学会

■学会役員

1. 日本学術会議会員（2020 年 10 月 1 日～）
2. IEFS Japan 会長（2019 年1 月1 日～）

■雑誌編集

- 査読付学術雑誌「Journal of Computational Social Science」(JCSS)のEditor-in-Chief
- 査読付学術雑誌「International Journal of Economic Theory (Wiley)」のEditor-in-Chief
- 経済理論専門誌「Economic Theory」のAssociate Editor
- 「Economic Theory Bulletin」のAssociate Editor
- 「Macroeconomic Dynamics」のAssociate Editor
- 「Mathematical Social Sciences」のAssociate Editor

■学外委員

1. 科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業「ACT X」研究領域「[AI 活用学問革新創成]AI 活用で 挑む学問の革新と創成」領域アドバイザー

<国際交流活動>

- Novo Tempus, "Towards new Tools for the Time Dimensions of Models in Economics"
- "New Approach to Stability Analysis for Economic Systems", with John Stachurski
- "Global Stability of Monotone Markov Processes and Economic Applications", with John Stachurski
- "A Nonsmooth, Nonconvex Model of Optimal Growth", with Santanu Roy
- "Industry Dynamic with Investment and Social Learning", with Santanu Roy
- "Dynamic Optimization with a Nonsmooth, Nonconvex Technology: the Case of Linear Objective Function", with Santanu Roy

<受賞>

- 令和 2 年度神戸大学学長表彰 財務貢献者 2020 年 10 月

教授 北野 重人 (Shigeto KITANO)

- ・ 計算社会科学センター/シミュレーション部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

□掲載予定論文 (Forthcoming)

1. “[How Do World Commodity Prices Affect Asian Commodity Exporting Economies? The Role of Financial Frictions.](#)” Applied Economics Letters, forthcoming, 2021

<学会報告等研究活動>

■報告 (学会報告/会議報告)

1. (学会報告) “How Do World Commodity Prices Affect Asian Commodity Exporting Economies? : The Role of Financial Frictions” WEAI 2021 Virtual International Conference
オンライン開催 2021 年3 月18 日
2. (学会コメント) “Population Ageing and FDI Inflows in Japan: ARDL Approach to Cointegration Analysis (Rajarshi Mitra)” WEAI 2021 Virtual International Conference
オンライン開催 2021 年3 月18 日
3. (学会報告) “How Do World Commodity Prices Affect Asian Commodity Exporting Economies? : The Role of Financial Frictions” 日本金融学会2020 年度秋季大会
岡山商科大学 オンライン開催 2020 年10 月31 日
4. (学会コメント) “Effects of Currency Swap Agreements in Sudden Stop Economies (Akihiko Ikeda)” 日本国際経済学会第79 回全国大会
九州大学 オンライン開催 2020 年10 月18 日

■主催/司会/座長/討論者/パネリスト/モデレーター

1. (学会座長) セッション：国際金融 2 日本金融学会 2020 年度秋季大会
岡山商科大学 オンライン開催 2020 年 11 月 1 日

<社会活動>

■所属学会

1. American Economic Association
2. 日本経済学会
3. 日本金融学会
4. 日本国際経済学会
5. IEFS JAPAN

■学会役員

1. 日本国際経済学会理事 (2018 年～)
2. 日本金融学会理事 (2014 年～)

■プログラム委員

1. 日本金融学会2020 年秋季大会プログラム委員

■雑誌編集

1. Japanese Journal of Monetary and Financial Economics, Co-editor, 2014～

■学内外委員

- 日本金融学会国際金融部会幹事（2018 年～）
- 日本国際経済学会出版委員（2018 年～）
- 神戸大学金融研究会幹事（2010 年～）

■学術論文レフリー

- Journal of Money, Credit, and Banking
- Journal of International Money and Finance
- Journal of Macroeconomics
- Journal of Economics
- The Manchester School
- Review of Development Economics
- Japanese Economic Review
- Japanese Journal of Monetary and Financial Economics
- International Economic Journal
- Japan and the World Economy
- The B.E. Journal of Macroeconomics
- Emerging Markets Finance and Trade
- Economic Modelling
- Open Economies Review

教授 飯塚 敦 (Atushi IIZUKA)

- ・ 計算社会科学センター/シミュレーション部門
 - ・ 都市安全研究センター
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

1. [Three-dimensional Effects of Rectangular Embankment Loading Placed on Soft Ground](#)
Ito,H, Iizuka,A, Ohta,H
International Journal of Geomate, 2020 年 09 月 01 日, International Journal of GEOMATE, 19 (73), 148 - 155, 英語
2. Practical method to estimate parameters of elasto-plastic constitutive model for unsaturated soils from compaction curve
Tachibana,S., Matsumoto,M. and Iizuka,A.
Soils and Foundations, Vol.60, No.5, pp.1287-1298, 2020.10,
<https://doi.org/10.1016/j.sandf.2020.08.005>, 英語

■掲載論文（査読なし）

1. 高レベル放射性廃棄物地層処分における性能設計
飯塚敦 原子力バックエンド研究, 日本原子力学会, Vol.27, No.2, pp.115-118,
2020 年 12 月
2. 都市デジタルツインによる防災減災パラダイムシフト
飯塚敦 技術展望, 土木構造・材料論文集, 第 36 号, pp.15-19, 九州橋梁・構造工学
研究会, 土木学会西部支部,
2020 年 12 月

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演）

1. （招待講演）建設市場, 受身から能動へのパラダイムシフト, ーデータ駆動型技術による防災・減災の市場化を例にとってー, (株)フジタ 第 7 1 回土木施工技術研究発表会, 酪農会館, オンライン講演, 2020 年 7 月 29 日
2. （招待講演）地層処分における性能設計、その意義, 日本原子力学会バックエンド部会, 第 36 回バックエンド夏期セミナー, オンライン開催, 2020 年 8 月 26 日
3. （招待講演）都市デジタルツインによる防災減災パラダイムシフト, UDC アーバンデザインセンター神戸 078 講演, オンライン開催, 2021 年 3 月 1 日
4. （招待講演）「街の安全性評価と投資」 ～都市丸ごとのシミュレーション技術を用いた市場創成の可能性～, 防災減災の国際連携ワークショップ MIRAI BOSAI, オンライン開催, 2021 年 3 月 26 日～27 日

■報告（学会報告/会議報告）

1. （研究報告）都市丸ごとのシミュレーション技術研究組合

2020 年, 神戸大学暁木会ニュース, Vol.41, 日本語

2. 粘土緩衝材を対象とした熱／水／空気／応力連成解析手法の開発
太田有祐, 伊藤真司, 橘伸也, 竹山智英, 飯塚敦
神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 25 号, pp.22-32, March 2021
3. 機械学習による過圧密比の深度分布推定
陳冉, 竹山智英, 銭谷誠司, 橘伸也, 飯塚敦
神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 25 号, pp.33-41, March 2021
4. 土/水/空気連成動的解析を用いたアーチ効果の液状化への影響の解析的検討
林啓太, 竹山智英, 橘伸也, 飯塚敦
神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 25 号, pp.42-50, March 2021
5. 粘土鉱物の変質に起因する間隙水圧の上昇とスロースリップ
酒井貴寛, 土居優斗, 橘伸也, 竹山智英, 飯塚敦
神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 25 号, pp.51-61, March 2021
6. 盛立ておよび降雨過程における盛土の圧縮挙動の有限要素解析
難波智徳, 伊藤真司, 橘伸也, 竹山智英, 飯塚敦
神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 25 号, pp.62-74, March 2021
7. 自然災害への対峙的な防災・減災からの脱却
飯塚敦
神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 25 号, pp.181-190, March 2021

■記事（解説/コメント/インタビュー記事/寄稿）

1. Paradigm shift of disaster prevention and mitigation by city scale simulation, Special Contribution Iizuka,A IPA News Letter, 5 (Issue.2), 5 - 8, 英語, 2020 年 6 月
2. ベイズ推定を用いた災害即時の被害予測による応急対応タイムラインの実効性の向上
飯塚敦 高速道路と自動車, 公益財団法人高速道路調査会, 第 63 巻, 第 9 号, pp.9-10, 2020 年 9 月

＜社会活動＞

■所属学会

1. 国際開発学会
2. 応用生態工学会
3. 緑化工学会
4. 植生学会
5. 米国土木学会
6. 土木学会
7. 地盤工学会

■学外委員

- 国際地盤工学会, Technical Committee TC6 (Unsaturated soils) Core member
- 国土交通省社会資本整備審議会道路分科会近畿地方小委員会委員
- 国土交通省社会資本整備審議会専門委員

- 国土交通省近畿地方整備局，総合評価委員会委員
- 国土交通省近畿地方整備局，港湾空港部門総合評価委員会委員
- 国土交通省近畿地方整備局，災害時建設業事業継続力認定委員会委員
- 国土交通省近畿地方整備局，総合評価委員会専門部会委員
- 国土交通省近畿地方整備局，災害時建設業事業継続力認定委員会委員
- 国土交通省近畿地方整備局，兵庫ブロック総合評価委員会委員長
- 国土交通省近畿地方整備局・阪神高速道路株式会社 大阪湾岸道路西伸部技術検討委員会基礎構造小委員会委員
- 兵庫県，ひょうご安全の日推進事業，計画等策定支援専門家委嘱
- 兵庫県公共事業等審査会会長
- 社団法人全日本建設技術協会，公共工事品質確保技術者資格試験委員
- 独立行政法人防災科学研究所兵庫耐震工学研究センター，数値振動台研究開発分科会・地盤 WG 主査
- 財団法人原子力環境整備促進・資金管理センター，地下空洞型処分施設性能確証試験検討委員会委員
- 公益財団法人原子力安全研究協会処分システム安全研究所，NUMO 包括的技術報告書レビュー特別専門委員会委員
- 国立研究開発法人海洋研究開発機構，数理科学・先端技術研究分野 上席招聘研究員
- 一般財団法人建設工学研究所・所員
- 一般財団法人災害科学研究所・研究員
- 一般社団法人 FLIP コンソーシアム・顧問
- 日刊工業新聞，(社)近畿建設協会，建設技術展近畿，マイドーム大阪，注目技術審査員，橋梁コンテスト審査委員会委員長
- (独)日本学術振興会，科学研究費委員会第 25 小委員会審査委員

■学外営利企業の役員

- 神戸大学発ベンチャー企業，東京ジオテック株式会社，取締役

<国際交流活動>

- EU:HORIZON2020 プロジェクト Grant agreement No.662147-Cebam (主契約者:(財) 原子力環境整備促進・資金管理センター)，WP3 "Integration and Modeling"，プロジェクト名：Cement-based materials, properties, evolution and barrier functions, Subcontractor member

<受賞>

- 2020 年 06 月 ICE (英国土木学会)，[ICE Publishing Awards 2020, Telford Premium, Extension of unsaturated soil mechanics and its applications](#)
Atsushi Iizuka, Shinya Tachibana, Tomohide Takeyama, Yuri Sugiyama, Shun Nomura, Hideki Ohta

教授 大石 哲 (Satoru OISHI)

- ・ 計算社会科学研究センター/シミュレーション部門
 - ・ 都市安全研究センター
-

研究活動

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演）

1. (招待講演)「スーパーコンピュータ京や富岳によるシミュレーションについて
“研究”とは？」広島大学附属高等学校 2020 年 9 月 18 日

<社会活動>

■所属学会

1. 国際水理学会
2. 砂防学会
3. 米国地球物理学会
4. 米国気象学会
5. 日本気象学会
6. 水文・水質源学会
7. 土木学会

教授 貝原 俊也 (Toshiya KAIHARA)

- ・ 計算社会科学研究センター/シミュレーション部門
 - ・ 大学院システム情報学研究科
-

研究活動

<研究業績>

【編著書】

1. [Innovative Systems Approach for Designing Smarter World](#)
Toshiya Kaihara, Hajime Kita, Shingo Takahashi
共編者(共編著者), Springer, 2020 年 09 月

【論文】

■レフェリー付論文

1. [製造業の複数主体間における信用度を考慮した受発注計画手法の一提案](#)
山下 健, 貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介, 梅田 豊裕, 井筒 理人
システム制御情報学会論文誌, 33 (3310), 275 - 282, 2020 年 10 月 日本語
2. [A Basic Study on Scheduling Method for Electric Power Saving of Production Machine](#)
Masayuki Yabuuchi, Toshiya Kaihara, Nobutada Fujii, Daisuke Kokuryo, Satoko Sakajyo, Yoshito Nishita
Proc. of APMS 2020 International Conference Advances in Production Management Systems, 524 - 530, 英語 2020 年 09 月
3. [Automatic Design of Dispatching Rules with Genetic Programming for Dynamic Job Shop Scheduling](#) Salama Shady, Toshiya Kaihara, Nobutada Fujii, Daisuke Kokuryo
Proc. of APMS 2020 International Conference Advances in Production Management Systems, 395 - 407, 英語 2020 年 09 月
4. [A Study on Menu Planning Method for Managed Meal-Consideration of the Cost of Ordering Ingredients-](#)
Kyohei Irie, Nobutada Fujii, Daisuke Kokuryo, Toshiya Kaihara
Proc. of APMS 2020 International Conference Advances in Production Management Systems, 679 - 685, 英語 2020 年 09 月
5. [System Architecture Analysis with Network Index in MBSE Approach-Application to Smart Interactive Service with Digital Health Modeling-](#)
Toshiya Kaihara, Nobutada Fujii, Daisuke Kokuryo, Mizuki Harada
Proc. of APMS 2020 International Conference Advances in Production Management Systems, 307 - 313, 英語 2020 年 09 月
6. [Computational Study on Strategyproofness of Resource Matching in Crowdsourced Manufacturing](#)
Takafumi Chida, Toshiya Kaihara, Nobutada Fujii, Daisuke Kokuryo, Yuma Shiho
International Journal of Automation Technology, 14 (5), 734 - 743, 英語 2020 年 09 月
7. [Text Mining to Support Consulting Services for Client Company State Recognition](#)
Ruriko Watanabe, Nobutada Fujii, Saisuke Kokuryo, Toshiya Kaihara, Yoichi Abe
International Journal of Automation Technology, 14 (145), 779 - 790, 英語 2020 年 09 月

8. [A Proposed Production Decision Method for Order Planning Considering Decision Criteria of Multiple Organizations](#)
Daisuke Kokuryoa, Ken Yamashitaa, Toshiya Kaiharaa, Nobutada Fujiia, Toyohiro Umeda, Rihito Izutsu
53rd DIRP Conference on Manufacturing Systems, 93, 933 - 937, 英語 2020 年 07 月
9. [A PROPOSAL OF RESOURCE ALLOCATION METHOD BASED ON A COMBINATORIAL DOUBLE AUCTION TECHNIQUE IN CROWDSOURCED MANUFACTURING](#)
Daisuke Kokuryo, Yoshiaki Harada, Toshiya Kaihara, Nobutada Fujii
International Symposium on Flexible Automation ISFA2020, 1 - 4, 英語 2020 年 07 月
10. Smart Interactive Humane Service with CPHS for Healthcare Industry
Toshiya Kaihara, Daisuke Kokuryo
Proceedings of the 7th International Conference on Serviceology, 75 - 79, 英語 2020 年 05 月
11. [クラウドマニュファクチャリングにおけるリソースマッチングの安定性改善方式に関する一提案](#)
智田 崇文, 貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介
Recently, crowdsourced manufacturing concept highly attracts attention. In crowdsourced manufacturing, each participant shares its manufacturing resources to improve asset efficiency. To realize this concept, it is important how to make matching between resource requests and resource offers which achieve high efficiency improvement in fair way. Previously, some authors showed production efficiency improvement with some resource matching algorithms. But, accumulation of knowledge about the design of crowdsourced manufacturing is not sufficient currently. To support the design of crowdsourced manufacturing system, we previously proposed an evaluation method based on matching stability analysis for resource matching between resource requests and offers. The previous computational results showed that the system profit maximization policy made resource matching plans instable. In this research, we propose a balancing method between the system profit and the matching stability based on the 'nucleolus' concept in cooperative game theory. The proposed method reduces the maximum dissatisfaction of each resource request with procurement cost sharing. The computational experiments show that the proposed method improves resource matching stability with keeping system profit level in most cases. It cannot be generally stated how much the dissatisfaction with the resource request can be regarded as a virtually stable matching. So, it is important to evaluate property of crowdsourced manufacturing system with computational simulations and discuss politely among the participants before decision of the design of crowdsourced manufacturing system. In the future, we will examine resource matching methods from the viewpoint of the strategyproofness concept in market design theory, and evaluate them in various scenarios and in real manufacturing environment to clarify which situation is appropriate for crowdsourced manufacturing.
一般社団法人 日本機械学会, 日本機械学会論文集, 86 (881), 19 - 00205-19-00205, 日本語 2020 年

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演/発表/口頭発表）

1. (口頭発表)リース業における環境変動に頑健な在庫管理手法 -在庫配置の最適化-
藤井 信忠, 渡邊 るりこ, 國領 大介, 貝原 俊也, 金澤 宏篤
2021 年度精密工学会春季大会学術講演会講演論文集,
2021 年 03 月, 日本語

2. (口頭発表)機械学習による森林情報分析手法に関する研究 -k-means 法を用いた撮影条件に頑健な学習手法-
津谷 紘平, 藤井 信忠, 渡邊 るりこ, 國領 大介, 貝原 俊也, 角南 泰弘,
泉野 玲似, 眞野 方仁
2021 年度精密工学会春季大会学術講演会講演論文集,
2021 年 03 月, 日本語
3. (口頭発表)提供順序のばらつきをを考慮した献立計画手法に関する研究 -カフェテリアの献立を対象として-
入江 恭平, 渡邊 るりこ, 藤井 信忠, 國領 大介, 貝原 俊也, 柳田 賢史,
原田 賢一
2021 年度精密工学会春季大会学術講演会講演論文集,
2021 年 03 月, 日本語
4. (口頭発表)過去の探索情報を利用した自律分散型マスカスタム生産対応日程計画手法の一提案
貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介, 山根 雄, 原野 健一
2021 年度精密工学会春季大会学術講演会講演論文集,
2021 年 03 月, 日本語
5. (口頭発表)モデルベースシステムズエンジニアリングにおけるシステム要求および構造の関係性に着目した影響分析
貝原 俊也, 國領 大介, 藤井 信忠, 原田 瑞基
2021 年度精密工学会春季大会学術講演会講演論文集,
2021 年 03 月, 日本語
6. (ポスター発表)ユーザの行動履歴に基づく機械学習を用いたサービス設計に関する一提案 センシングデータによるランニング動作の比較及び差異の可視化
王 心悦, 藤井 信忠, 貝原 俊也, 國領 大介
サービス学会 第 9 回国内大会,
2021 年 03 月 09 日, 日本語
7. (口頭発表)需要の不確実性を考慮したシェアリング・ロジスティクスネットワークに関する研究
伊東 明日美, 貝原 俊也, 國領 大介, 藤井 信忠
日本機械学会 生産システム部門研究発表講演会 2021 講演論文集,
2021 年 03 月 09 日, 日本語
8. (口頭発表)Transportation Cost Optimization Approach for Last Mile Logistics with Time Window
Toshiya Kaihara, Nobutada Fujii, Daisuke Kokuryo, Pornpimol Kaewphing
日本機械学会 生産システム部門研究発表講演会 2021 講演論文集,
2021 年 03 月 09 日, 日本語
9. (口頭発表)時間帯別電力料金体系における電力コスト削減を目指した日程計画手法の一提案
藪内 雅幸, 貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介, 野中 美緒, 千住 琴音
日本機械学会 生産システム部門研究発表講演会 2021 講演論文集,

2021 年 03 月 08 日, 日本語

10. (口頭発表)フレキシブルジョブショップを対象とした機械稼働計画に関する研究 - 納期と稼働率に関する検討-
貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介, 村上 亘, 梅田 豊裕
日本機械学会 生産システム部門研究発表講演会 2021 講演論文集,
2021 年 03 月 08 日, 日本語
11. (口頭発表)社会シミュレーションを用いたマッチング理論に基づく新興感染症患者隔離先決定手法の一提案
川本 恭平, 貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介
計測自動制御学会 第 24 回社会システム部会研究会 (SICE 社会システム部),
2021 年 03 月 07 日, 日本語
12. (口頭発表)マルチスケールモデリングの概念に基づく新型コロナウイルス対策に関する基礎研究
清水 岳, 貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介
計測自動制御学会 第 24 回社会システム部会研究会 (SICE 社会システム部),
2021 年 03 月 07 日, 日本語
13. (招待講演)IoT が紡ぐ価値共創による新たなものづくり
貝原俊也, 株式会社日本能率協会コンサルティング 第 8 回ものづくり・現場力事例フェア,
2021 年 03 月 01 日, 日本語
14. (招待講演)超スマート社会とシステムズアプローチ
貝原俊也, 2020 年度計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会シンポジウム,
2021 年 01 月 08 日, 日本語
15. (口頭発表)腫瘍領域抽出精度向上のための多目的最適化技術を用いた画像協調手法の提案
田中 喜大, 國領 大介, 貝原 俊也, 藤井 信忠
第 63 回自動制御連合講演会 講演論文集,
2020 年 11 月 21 日, 日本語
16. (口頭発表)フレキシブルジョブショップを対象とした受発注生産における機械稼働計画立案のための基礎検討
貝原 俊也, 國領 大介, 藤井 信忠, 村上 亘, 梅田 豊裕
第 63 回自動制御連合講演会 講演論文集,
2020 年 11 月 21 日, 日本語
17. (口頭発表)マルチエージェントシミュレーションを用いたバイクシェアリングサービスに関する研究～交通手段にかかる料金と環境負荷の関係性評価～
神田 海翔, 貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介
計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2020 (SSI2020),
2020 年 11 月 15 日, 日本語
18. (口頭発表)モデルベースシステムズエンジニアリングにおけるシステム要求の構造

に着目した影響分析 -健康モデル化スマートインタラクティブサービスを対象として-

貝原 俊也, 國領 大介, 藤井 信忠, 原田 瑞基
計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2020 (SSI2020),
2020 年 11 月 15 日, 日本語

19. (招待講演)社会システムシミュレーション：マクロ政策と多視点行動の因果関係解明にむけて

貝原俊也, SICE ポストコロナ未来社会 WG 第 5 回ポストコロナ未来社会ワークショップ,
2020 年 10 月 30 日, 日本語

20. (口頭発表)ラグランジュ分解・調整法を用いたマスカスタム生産対応日程計画手法の一提案

貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介, 山根 雄, 原野 健一
2020 年度精密工学会秋季大会学術講演会講演論文集,
2020 年 09 月 06 日, 日本語

21. (口頭発表)CPHS ベースの健康モデル化によるデジタルトランスフォーメーションの実践 -JST 未来社会創造事業における取り組み-

貝原 俊也, 國領 大介
第 64 回システム制御情報学会研究発表講演会,
2020 年 05 月 21 日, 日本語

22. (口頭発表)林業における機械学習を用いた樹種判定に関する研究

津谷 紘平, 藤井 信忠, 國領 大介, 貝原 俊也, 角南 泰弘, 泉野 玲似,
眞野 方仁
第 64 回システム制御情報学会研究発表講演会,
2020 年 05 月 21 日, 日本語

23. (口頭発表)人流解析を用いた服飾小売店舗内レイアウト計画に関する研究 -シミュレーションによるレイアウト変更の有効性検証-

藤井 信忠, 國領 大介, 貝原 俊也, 孫 誠
第 64 回システム制御情報学会研究発表講演会,
2020 年 05 月 21 日, 日本語

24. (口頭発表)モデルベースシステムズエンジニアリングにおけるネットワーク指標を用いたシステム構造分析 -健康モデル化スマートインタラクティブサービスを対象に-

貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介, 原田 瑞基
第 64 回システム制御情報学会研究発表講演会,
2020 年 05 月 21 日, 日本語

25. (口頭発表)ユーザの行動履歴に基づくニューラルネットワークを用いたサポートサービス提案

王 心悅, 藤井 信忠, 貝原 俊也, 國領 大介
第 64 回システム制御情報学会研究発表講演会,
2020 年 05 月 21 日, 日本語

26. (口頭発表)企業内テキストの解析によるコンサルタント支援手法
渡邊 るりこ, 藤井 信忠, 国領 大介, 貝原 俊也, 安部 洋一
第 64 回システム制御情報学会研究発表講演会,
2020 年 05 月 20 日, 日本語
27. (口頭発表)マルチエージェントシミュレーションを用いたバイクシェアリングサー
ビスと環境負担に関する一考察
神田 海翔, 貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介
第 64 回システム制御情報学会研究発表講演会,
2020 年 05 月 20 日, 日本語
28. (口頭発表)A Hyper-Heuristic Framework using GP for Dynamic Job Shop Scheduling
Problem
Salama Shady, Toshiya Kaihara, Nobutada Fujii, Daisuke Kokuryo
第 64 回システム制御情報学会研究発表講演会,
2020 年 05 月 20 日, 英語
29. (口頭発表)生産設備の省電力化を目指したスケジューリング手法の一提案
藪内 雅幸, 貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介, 坂上 聡子, 西田 義人
第 64 回システム制御情報学会研究発表講演会,
2020 年 05 月 20 日, 日本語
30. (口頭発表)製造業を対象とした複数主体間における受発注計画手法の提案～納期・最
大生産量を考慮した受注量調整～
山下 健, 國領 大介, 貝原 俊也, 藤井 信忠, 梅田 豊裕, 井筒 理人
第 64 回システム制御情報学会研究発表講演会,
2020 年 05 月 20 日, 日本語
31. (口頭発表)磁場不均一の影響を考慮した対話型腫瘍領域抽出手法の一提案
田中 喜大, 國領 大介, 貝原 俊也, 藤井 信忠, 熊本 悦子
第 64 回システム制御情報学会研究発表講演会,
2020 年 05 月 20 日, 日本語

■記事（解説/コメント/インタビュー記事/寄稿）

1. Society5.0 の実現を目指す新たなシステムズアプローチ
一般社団法人システムイノベーションセンター GAFA SIC ニュースレター, 00 (00),
85 - 91, 日本語 [招待有り] 2021 年 01 月
2. 社会的課題解決への実展開を目指す新たなシステムズアプローチの実現に向けて
計測と制御, 59 (12), 891 - 894, 日本語 [招待有り] , 2020 年 12 月
3. Society5.0 の実現を目指す新たなシステムズアプローチ
一般社団法人システムイノベーションセンター GAFA SIC ニュースレター, 12 (1212),
1 - 114, 日本語, 2020 年 12 月
4. Special Issue on Value Creation in Production
Toshiya Kaihara, Nariaki Nishino
International Journal of Automation Technology, 14 (5), 677 - 677, 英語, 2020 年 09 月

5. IoT を活用した価値共創による新たなものづくり
素形材 ～一般社団法人 素形材センター～, 61 (8), 2 - 7, 日本語 [招待有り]
2020 年 08 月
6. 第 64 期会長就任にあたり
64 (7), 239 - 239, 日本語 , 2020 年 07 月
7. 複数主体による受発注計画手法に関する一検討
貝原 俊也, 藤井 信忠, 藤井 進
IMS 精密工学会総合生産システム専門委員会 2019 年度活動報告書, 37 - 48, 日本語
2020 年 05 月

＜社会活動＞

■所属学会

1. IFAC (International Federation of Automatic Control)
2. 日本工学アカデミー
3. サービス学会
4. CIRP (Collège International pour la Recherche en Productique)
5. IFIP (International Federation of Information Processing)
6. IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers)
7. 日本設備管理学会
8. スケジューリング学会
9. 経営情報学会
10. 日本オペレーションズリサーチ学会
11. 計測自動制御学会
12. システム制御情報学会
13. 電気学会
14. 精密工学会
15. 日本機械学会

■学外委員

1. 2020 年 07 月 - 現在, 日本工学アカデミー, 会員
2. 2020 年 05 月 - 現在, システム制御情報学会, 会長
3. 2018 年 04 月 - 現在, 日本機械学会, 生産システム部門 部門長 (2018-2019),
フェロー (2019-)
4. 2015 年 05 月 - 現在, 電気学会, 電子・情報・システム部門システム技術委員会
委員長
5. 2012 年 08 月 - 現在, 国際生産工学アカデミー (CIRP), 会員 (2012-2020),
フェロー (2020-)
6. 2007 年 08 月 - 現在, 日本学術会議, 自動制御の多分野応用小委員会 委員
7. 2008 年 09 月 - 2020 年 09 月, スケジューリング学会, 会長
8. 2014 年 05 月 - 2018 年 05 月, サービス学会, 理事
9. 2007 年 01 月 - 2007 年 12 月, 計測自動制御学会, システム・情報部門 部門長

＜受賞＞

1. 2021 年 03 月 [日本機械学会 生産システム部門, 第 98 期 生産システム部門 部門功績賞](#)
2. 2020 年 08 月 [国際生産工学アカデミー\(CIRP\), フェロー授与](#)

教授 横川 三津夫 (Mitsuo YOKOKAWA)

- ・ 計算社会科学研究センター/シミュレーション部門
 - ・ 大学院システム情報学研究科
-

研究活動

<研究業績>

【著 書】

1. Y. Takenaka, M. Yokokawa, T. Ishihara, K. Komatsu, and H. Kobayashi, "[Optimizations of DNS Codes for Turbulence on SX-Aurora TSUBASA](#)," Sustained Simulation Performance 2019 and 2020, M. Resch et al. (Eds.), pp. 51-59, Springer, (2021), https://doi.org/10.1007/978-3-030-68049-7_4

【論 文】

■レフェリー付論文

1. T. Ishihara, Y. Kaneda, K. Morishita, M. Yokokawa, and A. Uno, "[Second-order velocity structure functions in direct numerical simulations of turbulence with \$R_\lambda\$ up to 2250](#)", Physical Review Fluids, Vol. 5, 104608, pp. 1-15 (2020)
2. M. Yokokawa, A. Nakai, K. Komatsu, Y. Watanabe, Y. Masaoka, Y. Isobe, and H. Kobayashi, "[I/O Performance of the SX-Aurora TSUBASA](#), Proc. of 2020 IEEE International Parallel and Distributed Processing Symposium Workshop (IPDPSW), pp. 27-35 (2020), <https://doi.org/10.1109/IPDPSW50202.2020.00014>

<社会活動>

■所属学会

1. 一般社団法人日本流体力学会
2. 一般社団法人日本応用数理学会
3. 一般社団法人情報処理学会
4. 米国 ACM 学会

■学外委員

1. 公益財団法人計算科学振興財団・理事
2. 神戸医療産業都市推進機構運営委員会・委員
3. インダストリスパコン推進センター アドバイザー

教授 佐野 英樹 (Hideki SANO)

- ・ 計算社会科学研究センター/シミュレーション部門
 - ・ 大学院システム情報学研究科
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

1. [分布系のカオス同期化を用いた秘匿通信システム](#),
佐野 英樹, 若生 将史, 谷口 隆晴
計測自動制御学会論文集, 57(2), 78-85, 2021.2
2. [Stability analysis of heat exchangers with delayed boundary feedback](#),
Hideki Sano
Automatica, Vol. 127, 109540, 2021.3

■報告 (学会報告/会議報告)

1. (口頭発表) 潜伏期間と観測遅れを伴う Kermack-McKendrick モデルに対する状態推定,
佐野 英樹, 若生 将史
第 64 回システム制御情報学会研究発表講演会予稿集, pp. 1092-1096, 2020.5

■主催/司会/座長/討論者/パネリスト/モデレーター

1. 第 64 回システム制御情報学会研究発表講演会
(SCI'20) オーガナイズドセッション: 無限次元系の安定性解析・安定化手法
における最近の進展

<社会活動>

■所属学会

1. The Mathematical Society of Japan
2. The Japan Society for Industrial and Applied Mathematics
3. The Society of Instrument and Control Engineers
4. The Institute of Systems, Control and Information Engineers
5. 日本数学会
6. 日本応用数理学会
7. 計測自動制御学会
8. システム制御情報学会

講師 榎本 大悟 (Daigo UMEMOTO)

- ・ 計算社会科学研究センター/シミュレーション部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<社会活動>

■所属学会

1. 日本物理学会
2. 計算社会科学会

教授 西谷 公孝 (Kimitaka NISHITANI)

- ・ 計算社会科学センター/データ分析部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

1. “The introduction of material flow cost accounting in Thien Phuoc Manufacturing & Trading Co., Ltd and Vietnam Food Industries Joint Stock Company,” (coauthored with Nguyen, T.B.H. and Kokubu, K.), Journal of International Economics and Management 132, pp.59-75 (in Vietnamese), November 2020

□掲載予定論文 (Forthcoming)

1. 「サステナビリティ会計はSDGs 促進手法となり得るか：環境会計導入が環境パフォーマンスと生産性に与える効果」『メルコ管理会計研究』 近刊
2. “[Corporate Social Reporting in the Banking Industry of Bangladesh: A Test of Legitimacy Theory](#),” (coauthored with Islam, M.T. and Kokubu, K.), Social Responsibility Journal, forthcoming

■掲載論文 (査読なし)

□未掲載論文 (DP/WP)

1. “Material Flow Cost Accounting (MFCA) for the Circular Economy: An Empirical Study of the Triadic Relationship Between MFCA, Environmental Performance, and Economic Performance in Japanese Companies” (coauthored with Kokubu, K., Wu, Q., Kitada, H., Guenther, E., and Guenther T.), RIEB Discussion Paper Series, DP2020-29, 36pp., October 2020

<社会活動>

■所属学会

1. 環境経済・政策学会
2. 日本社会関連会計学会
3. 日本 LCA 学会
4. 日本会計研究学会
5. Centre for Social & Environmental Accounting Research

<国際交流活動>

1. 「企業の SDGs への取り組みに関する国際比較研究」國部克彦 (神戸大学)、Ataur R. Belal (シェフィールド大学) と共同研究
2. 「環境情報開示の日米比較研究」國部克彦 (神戸大学)、Jin Dong Park (タウソン大学) と共同研究
3. 「統合報告書の日英比較研究」國部克彦 (神戸大学)、遠藤貴宏 (一橋大学)、Jeffrey Unerman (ランカスター大学)、Franco Zappettini (リバプール大学) と共同研究

4. 「日本・ドイツ企業における経営管理と環境マネジメントの関係に関する国際比較研究」國部克彦（神戸大学）、梶原武久（神戸大学）、北田皓嗣（法政大学）、Thomas Guenther（ドレスデン工科大学）、Edeltraud Guenther（ドレスデン工科大学）他と共同研究
5. 「アジアにおける企業の環境経営モデルの展開とステークホルダーによる導入支援方策に関する研究」國部克彦（神戸大学）、Nguyen Thi Bich Hue（貿易大学）、Pakpong Pochanart（National Institute of Development Administration）他と共同研究

教授 中川 丈久 (Takehisa NAKAGAWA)

- ・ 計算社会科学センター/データ分析部門
 - ・ 大学院法学研究科
-

研究活動

<研究業績>

【編著書】

1. [法解釈の方法論：その諸相と展望](#)
山本敬三, 中川丈久
共編者(共編著者), 行政法解釈の方法; おわりに一解題,
有斐閣, 2021 年 03 月, 日本語, ISBN: 9784641126145

【論文】

■掲載論文 (査読なし)

□掲載論文

1. [おわりに一解題](#)
中川丈久. 2021 年 03 月, 山本敬三・中川丈久編『法解釈の方法論』, 411 - 426,
日本語
2. [行政法解釈の方法－最高裁判例にみるその動態](#)
中川丈久 2021 年 03 月, 山本敬三・中川丈久編『法解釈の方法論』, 65 - 123,
日本語
3. [消費者行政における非権力的手法の展開](#)
中川丈久 2021 年 02 月, 都市問題, (112), 59 - 67,
日本語

<社会活動>

■所属学会

1. 日本消費者法学会
2. 日米法学会
3. 日本公法学会

■学会役員

1. 日本消費者法学会・理事
2. 日米法学会・理事

■雑誌編集

1. 民商法雑誌 編集委員

■学外委員

1. 消費者庁・消費者安全調査委員会・委員長
2. 総務省・情報公開個人情報保護審査委員会・委員
3. 消費者庁・デジタルプラットフォーム企業が介在する消費者取引における
環境整備等に関する検討会・座長代理

教授 栗木 契 (Kei KURIKI)

- ・ 計算社会科学センター/データ分析部門
 - ・ 大学院経営学研究科
-

研究活動

<研究業績>

【著書（分担執筆）】

1. [プレ MBA の知的武装](#)

栗木契, 國部克彦, 鈴木竜太, 森村文一, 高田知実, 宮尾学, 三品和広, 三矢裕,
清水泰洋, 森直哉, 原田勉, 松井建二
分担執筆, 中央経済社, 2021 年 03 月

【論文】

■掲載論文（査読なし）

□掲載論文

1. [観光マーケティングの諸相](#)

栗木 契

マーケティングジャーナル, 39 (4), 3-6, 2020 年 03 月

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演）

1. 「トヨタの『カイゼン』がもたらすエフェクチュエーション能力の向上」
日本マーケティング学会九州サロン、2020 年 11 月 9 日、オンライン、日本語

■主催/司会/座長/討論者/パネリスト/モデレーター

1. 「株式交換型クラウドファンディング市場創造までの道のり」2020 年 6 月 22 日、
日本マーケティング学会第 9 回エフェクチュエーション研究会、オンライン、日本語
2. 「テックフィールド創業から、テックフィールド Pro 完成までの道のり」2020 年 7 月 1 日、
日本マーケティング学会第 10 回エフェクチュエーション研究会、オンライン、日本語
3. 「ビューティーシンカーの創業ストーリー」2020 年 8 月 26 日、日本マーケティング
学会第 11 回エフェクチュエーション研究会、オンライン、日本語
4. 「事業成長フェーズごとのエフェクチュエーション」2020 年 10 月 18 日、日本マーケ
ティング学会カンファレンス、オンライン、日本語

■記事（解説/コメント/インタビュー記事/寄稿）

1. 医療機器のシスメックスが「試薬で稼ぐ」高収益ビジネスに辿り着いた理由
ダイヤモンドオンライン, 2021 年 02 月
2. マーケティングにおける事例による学びの意義
季刊ひょうご経済, (149), 12-13, 2021 年 01 月

3. 経営学者の提言「コロナ禍の病院には"トヨタ流の権限委譲"が役に立つ」
プレジデントオンライン, 2021 年 01 月
4. 山形の観光農園が「さくらんぼ狩り」を「ネット通販」に切り替えられた意外な背景
プレジデントオンライン, 2020 年 11 月
5. コロナ禍によってマーケティングに何が起きているか
季刊ひょうご経済, (148), 12 - 13, 2020 年 10 月
6. スマホ全盛のいま、なぜ「インスタントカメラ」が年 1000 万台も売れているのか
プレジデントオンライン, 2020 年 09 月
7. 「あえて 1 枚しか焼けない形に」三菱電機の 3 万円のトースターが売れる理由
プレジデントオンライン, 2020 年 08 月
8. エフェクチュエーションが、なぜ、いま重要か
季刊ひょうご経済, 2020 年 7 月 (147), 2020 年 07 月
9. 「たった 150g で 220 円」市場の常識を壊した"小麦粉の少量パック"の秘密
プレジデントオンライン, 2020 年 06 月
10. 今、トヨタに学ぶ、日本の観光マーケティングの活路
季刊ひょうご経済, 2020 年 4 月 (146), 12 - 13, 2020 年 06 月
11. 「やむを得ない外出」で会員を増やすカーシェアの使われ方
プレジデントオンライン, 2020 年 05 月, [査読有り]
12. ポスト・コロナへ向けた、観光マーケティングの備え（論文紹介）
マーケジン, 2020 年 05 月

＜社会活動＞

■所属学会

1. 日本商品学会
2. 日本消費者行動研究学会
3. 組織学会
4. 日本商業学会
5. 日本マーケティング学会
6. 日本経営学会

■学会役員

1. 日本消費者行動研究学会理事
2. 日本商業学会理事
3. 日本マーケティング学会理事

■雑誌編集

1. 日本マーケティング学会ジャーナル編集委員
2. 一橋ビジネスレビュー編集委員

■学外営利企業の役員

1. 株式会社碩学舎取締役

教授 小林 照義 (Teruyoshi KOBAYASHI)

- ・ 計算社会科学研究センター/データ分析部門
 - ・ 大学院経済学研究科
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

1. [The switching mechanisms of social network densification](#)
Teruyoshi Kobayashi, Mathieu Génois
Scientific Reports 11(3160) 2021 年 2 月
2. [Two types of densification scaling in the evolution of temporal networks](#)
Teruyoshi Kobayashi, Mathieu Génois
Physical Review E 102(052302) 2020 年 11 月
3. [Detecting multi-timescale consumption patterns from receipt data: A non-negative tensor factorization approach](#)
Akira Matsui, Teruyoshi Kobayashi, Daisuke Moriwaki, Emilio Ferrara
Journal of Computational Social Science in press 2020 年

■掲載論文（査読なし）

□掲載論文

1. [Editorial: Introduction to the special issue "Economics and Complex Networks"](#)
Teruyoshi Kobayashi, Naoki Masuda
Japanese Economic Review 2021 年 1 月

□未掲載論文 (DP/WP)

1. Dynamics of diffusion on monoplex and multiplex networks: A message-passing approach
Teruyoshi Kobayashi, Tomokatsu Onaga
arXiv 2103.09417 2021 年 3 月
2. A simple model for the macroscopic fluctuations of temporal networks
Teruyoshi Kobayashi, Mathieu Génois
arXiv:2005.09445 2020 年 5 月

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演）

1. (招待講演)The switching mechanisms of densification in temporal networks
小林照義 Eurasian Summit for Models of Society 2021 年 3 月 3 日
2. (招待講演)Two types of densification scaling in social and financial networks
Teruyoshi Kobayashi NetSci 2020 satellite workshop "Complexity Meets Finance: Data, Methods and Policy Implications" 2020 年 9 月 18 日

■記事（解説/コメント/インタビュー記事/寄稿）

1. 経済セミナー2020 年 12 月・2021 年 1 月号「ネットワーク科学と経済学」における鼎談および寄稿「経済分析に活かすネットワーク科学」

<社会活動>

■所属学会

1. 日本経済学会
2. 日本金融学会
3. Network Science Society
4. 計算社会科学会

■雑誌編集・ジャーナル編集

- PLOS ONE, Academic Editor

特命教授 西村 和雄 (Kazuo NISHIMURA)

- ・ 計算社会科学センター/データ分析部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

1. “[Time Preference and International Trade](#),” (with Kazumichi Iwasa), International Journal of Economic Theory, Vol.17 Issue 1, pp.31-45, March 2021
2. “[Mental rotation ability and spontaneous brain activity: A magnetoencephalography study](#),” (with Takaaki Aoki, Michiyo Inagawa, Yoshikazu Tobinaga and Sunao Iwaki), NeuroReport, Vol.31, No.13, pp.999-1005, September 2020
3. “[Education for Enhancing the Abilities of Engineers — A Survey Conducted in Japan and its Analyses —](#),” (with Tadashi Yagi and Dai Miyamoto), Journal of Education and Learning, Vol. 9, No. 3, pp.37-46, June 2020
4. “[Toward a descent theoretic formulation for organization and emergence – An initial object sheaf \$\alpha\$ hypothesis and its consequence](#),” (with Goro Kato), Journal of Integrated Creative Studies, No.2020-004-a, June 2020

□掲載予定論文 (Forthcoming)

1. “[Coase Meets Bellman: Dynamic Programming for Production Networks](#)” (with Tomoo Kikuchi, John Stachurski and Junnan Zhang), Journal of Economic Theory, forthcoming
2. “[Externalities of human capital](#)” (with Bosi, S. and Lloyd-Braga, T.), Mathematical Social Sciences, forthcoming
3. “[Parenting methods in relation to norm awareness, social success, and perspectives of family in adulthood](#),” (with Tadashi Yagi and Makoto Yano), Journal of Computational Social Science, forthcoming
4. “[Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model](#),” (with Ken-Ichi Akao, Hitoshi Ishii and Takashi Kamihigashi), Mathematical Economics of the Pure and Applied Functional Analysis, forthcoming
5. “[Does Financial Sector Development Amplify Sunspot Fluctuations?](#),” (with Takuma Kunieda), Pure and Applied Functional Analysis, forthcoming

■掲載論文 (査読なし)

□未掲載論文 (DP/WP)

1. “[Trends in the Number of Patent Applications and Changes in the Curriculum Guidelines in Japan](#),” (with Dai Miyamoto and Tadashi Yagi), RIEB Discussion Paper Series No.2021-02, January 2021

<学会報告等研究活動>

■講演 (招待講演/基調講演)

1. (招待講演)「経済と人的資本：君はなぜ学ぶのか」京都市立西京中学校
2020年11月17日
2. (招待講演)「自己決定と幸福感」兵庫県将来構想研究会第12回会議 兵庫県庁
2020年10月21日
3. (招待講演)「自己決定と幸福感」シン・エナジー株式会社
2020年9月16日

■記事(解説/コメント/インタビュー記事/寄稿)

1. インタビュー記事 “Morality, parenting and well-being in Japan,” Bridging the Gap between Theory and Practice, pp.58-60, March 2021
2. 対談記事「コロナ後キャリアは『自分で決める』が鍵な理由『幸せ』に、年収・学歴より影響することは？」東洋経済オンライン (2020年7月22日付)
3. 「『第2波』備え授業再興の具体策を」『産経新聞』(2020年6月6日付「正論」)
4. 『AERA dot.』インタビュー記事「『数学の学び直し』が文系人材にウケている理由-大切なのは データを読み解き意思決定する力-」(2020年3月25日)

<社会活動>

■所属学会

1. Society for the Advancement of Economic Theory (SAET)
2020～ Economic Theory Fellow
2. International Engineering and Technology Institute
2015～ Distinguished Fellow
3. Econometric Society
1992～Fellow of the Econometric Society
4. 日本経済学会 (理論計量経済学会)
5. 日本学術会議

■学会役員

- 日本経済学教育協会 (経済学検定試験実施) 2002～会長
- 国際教育学会 2006～会長

■雑誌編集

- *Taiwan Journal of Applied Economics*, Member of the Honorary International Editorial Advisory Board, 2017-
- *Neuroscience Communications*, Smart Science & Technology, Member of Editorial Board, 2015-
- *International Journal of Economic Theory*, Basil Blackwell, Managing Editor, 2004-
- *Advances in Dynamical Systems and Applications*, Research India Publications, Member of Editorial Board, 2006-
- *Advances of Mathematical Economics*, Springer-Verlag, Member of Editorial Board, 1998-
- *Annals of Financial Economics*, World Scientific, Member of the Advisory Board, August 2013-
- *Brazilian Journal of Business Economics*, Catholic University of Brasilia, Member of Advisory Board, February 2012-

- *Chaos, Solitons and Fractals*, Pergamon Press, Member of Editorial Board, 1990-
- *Journal of Reviews on Global Economics*, Lifescience Global, Member of Editorial Board, 2012-
- *Journal of Risk and Financial Management*, Multidisciplinary Digital Publishing Institute, Member of the Advisory Board, August 2013-
- *Journal of Macroeconomics*, Elsevier, Member of Editorial Board, 2003-
- *Journal of Economic Development*, Chung Ang University, Member of Editorial Board, 1997-
- *Journal of Difference Equations and Applications*, Gordon and Breach Publishers, Member of Editorial Board since 1997
- *Journal of Informatics and Data Mining*, Insight Medical Publishing, Member of Editorial Board, 2015-
- *Journal of Health & Medical Economics*, Insight Medical Publishing, Member of Editorial Board, 2015-
- *Journal of Integrated Creative Studies*, Kyoto University, Member of Editorial Board, 2015-
- *International Journal of Dynamical Systems and Differential Equations*, Nova Science Publishers, Member of Editorial Board, 2006-
- *Pacific Economic Review*, Wiley-Blackwell, Member of Editorial Board, 2003-
- *Review of International Economics*, Wiley-Blackwell, Member of Editorial Board, 1997-
- *Seoul Journal of Economics*, Seoul University, Member of Editorial Board, 1996-
- *Studies in Nonlinear Dynamics and Econometrics*, MIT Press, Member of Editorial Board 1995-
- *Theoretical Economics Letters*, Scientific Research Publishing, Member of the Editorial Board, April 2011-

■学外委員その他

- 2017～ 大阪市教育委員会 顧問
- 2013～ 総合診断医療研究会 名誉顧問
- 2012～ 高等教育国際基準協会 名誉顧問
- 2010～ 法科大学院全国統一適性試験管理委員会 委員
- 2005～ NPO これからの教育を考える会 理事

<国際交流活動>

- コースの企業理論
オーストラリア国立大学John Stachurski、シンガポール国立大学Tomoo Kikuchi
(2017 年度～2020 年度)
- 経済の不安定性
マルセーユ経済大学 Alain Venditti (2017 年度～2020 年度)
- 脳の機能と抽象代数
California Polytechnic State University, San Luis Obispo 校 Goro Kato
(2014 年度～2020 年度)

准教授 柴本 昌彦 (Masahiko SHIBAMOTO)

- ・ 計算社会科学センター/データ分析部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【著書（分担執筆）】

1. 「[近世日本の中央市場と気候変動](#)」(高槻泰郎、村和明と共著) 中塚武監修/鎌谷かおる・渡辺 浩一編『[気候変動から読みなおす日本史第 5 巻 気候変動から近世を読みなおすー数量・システム・技術](#)』臨川書店 第5 章 125-151 頁 2020 年11 月
2. 「[兵庫県と全国の事業継承：2 つのアンケート調査をもとにして](#)」(海野晋悟との共著) 家森信善編著『[地域金融機関による事業承継支援と信用保証制度](#)』中央経済社 第15 章 212-224 頁 2020 年7 月

【論 文】

■レフェリー付論文

□掲載予定論文 (Forthcoming)

1. “[Japan's Monetary Policy: A Literature Review and An Empirical Assessment](#),” (with Wataru Takahashi and Takashi Kamihigashi), Journal of Computational Social Science, forthcoming

■掲載論文（査読なし）

□掲載論文

1. 「日本の新型コロナウイルス感染症拡大の現状と感染リスク」『国民経済雑誌』第 222 巻第 5 号 33-53 頁 2020 年 11 月

□未掲載論文 (DP/WP)

1. 「[日本の新型コロナウイルス感染症拡大の現状と感染リスク](#)」
神戸大学経済経営研究所ディスカッションペーパー No.DP2020-J11
2020 年7 月 (2020 年8 月改訂)
2. “Japan's Monetary Policy: A Literature Review and An Empirical Assessment,” (with Wataru TAKAHASHI and Takashi KAMIHIGASHI), RIEB Discussion Paper Series, No.DP2020-15, Kobe University, March 2020 (Revised 2020-7)

<学会報告等研究活動>

■報告（学会報告/会議報告）

1. (発表)「伝統的金利政策及びマイナス金利政策と銀行行動」
Monetary Economic Workshop (オンライン開催)
2020 年 12 月 19 日
2. (発表)「マイナス金利政策と銀行行動：論点整理」『マイナス金利環境の下での地域金融機関の経営の現状と課題』第 2 回研究会 アジア太平洋研究所 (オンライン開催)
2020 年 8 月 4 日

■主催/司会/座長/討論者/パネリスト/モデレーター

1. (討論者) “How are the International Capital Flows of Rapidly Aging Countries Affected by the Elderly Working Longer?” (稲垣一之) 日本金融学会中部部会 2020(令和2)年度第2回研究会 アジア太平洋研究所(オンライン開催) 2021年2月20日
2. (討論者) “High-frequency Identification of Unconventional Monetary Policy Shocks in Japan,” (久保田紘行) 第15回若手経済学者のためのマクロ経済学コンファレンス(オンライン開催) 2021年2月17日

<社会活動>

■所属学会

1. 日本経済学会
2. 日本金融学会
3. American Economic Association
4. Western Economic Association International
5. Royal Economic Society
6. Econometric Society
7. International Association for Applied Econometrics

■雑誌編集

- *Journal of the Japanese and International Economies (2)*
- *Asian Economic Journal*
- *Japanese Economic Review (2)*
- *Japan and the World Economy*
- *Asian-Pacific Financial Markets*
- *Macroeconomic Dynamics*
- *Review of Development Economics*

■学外委員その他

- 財務省財務統合政策研究所 財務経済理論研修指導担当教官

<国際交流活動>

- 「Inflation Shocks, Expectations and Monetary Policy」 Kenneth N. Kuttner (Williams College) との共同研究

准教授 谷口 隆晴 (Takaharu YAGUCHI)

- ・ 計算社会科学センター/データ分析部門
 - ・ 大学院システム情報学研究科
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文 (査読あり)

1. [分布系のカオス同期化を用いた秘匿通信システム](#)
佐野英樹, 若生将史, 谷口隆晴
計測自動制御学会論文集, 57 (2), 78 - 85, 日本語, 2021 年 02 月 19 日
2. [Error Factor Analysis of DNN-based Fingerprinting Localization through Virtual Space](#)
Takuto Jikyo, Tomio Kamada, Chikara Ohta, Takaharu Yaguchi, Kenji Oyama, Takenao Ohkawa, Ryo Nishide
Proceedings of 2021 IEEE 18th Annual Consumer Communications & Networking Conference (CCNC), 1 - 4, 英語, 2021 年 01 月 09 日
3. [波動方程式と弾性方程式からなる連成系のシンプレクティック性について](#)
寺川 峻平, 谷口 隆晴
日本応用数理学会論文誌, 30 (4), 269 - 289, 日本語, 2020 年 12 月 25 日
4. [Deep Energy-Based Modeling of Discrete-Time Physics](#)
Takashi Matsubara, Ai Ishikawa, Takaharu Yaguchi
Advances in Neural Information Processing Systems (NeurIPS), 33, 13100 - 13111, 英語, 2020 年 12 月 08 日
5. Parameter estimation for dynamical systems via structural realization
Mizuka Komatsu, Takaharu Yaguchi, Kenji Kamada, Gen Izumisawa
Proceedings of the 2020 International Symposium on Nonlinear Theory and its Applications (NOLTA2020), 204 - 207, 英語, 2020 年 11 月 16 日

<学会報告等研究活動>

■報告 (学会報告/会議報告)

1. 深層学習を用いたエネルギーベースのモデリング・シミュレーションフレームワーク
谷口 隆晴
明治大学共同利用・共同研究拠点研究集会「高度な自動運転を実現するための数理の現状と課題」, 日本語, オンライン, 国内会議, 2021 年 03 月 09 日
[招待有り]
2. Koopman 作用素を利用した発展型ネットワーク予測の試み
徐 百歌, 谷口 隆晴
日本応用数理学会第 17 回研究部会連合発表会,
日本語, オンライン, 国内会議, 2021 年 03 月 04 日
3. アトラクターのトポロジーに着目した因果推定手法について

板東 弘晃, 鍛冶 静雄, 谷口 隆晴
日本応用数理学会第 17 回研究部会連合発表会,
日本語, オンライン, 国内会議, 2021 年 03 月 04 日

4. 非線形状態空間システム解析における代数的マトロイドの応用について
小松 瑞果, 谷口 隆晴
日本応用数理学会第 17 回研究部会連合発表会,
日本語, オンライン, 国内会議, 2021 年 03 月 04 日
5. 深層学習によるエネルギーベース物理モデル, その 2
谷口 隆晴
Workshop: シミュレーションとモデリングのための計算代数 2021,
日本語, オンライン, 国内会議, 2021 年 02 月 13 日
[招待有り]
6. 深層学習によるエネルギーベース物理モデル, その 1
谷口 隆晴
Workshop: シミュレーションとモデリングのための計算代数 2021,
日本語, オンライン, 国内会議, 2021 年 02 月 13 日
[招待有り]
7. Deep Energy-Based Modeling of Discrete-Time Physics
谷口 隆晴
日本ディープラーニング協会主催 NeurIPS 2020 技術報告会,
日本語, オンライン, 国内会議, 2021 年 01 月 20 日
[招待有り]
8. DGNet: エネルギー保存・散逸則を保つ深層物理モデリングとそれに関する理論・応用
谷口 隆晴
数値解析セミナー,
日本語, オンライン, 国内会議, 2021 年 01 月 12 日
[招待有り]
9. 潜在変数をもつニューラル微分方程式に対する代数的考察
小松 瑞果, 谷口 隆晴
2020 年度応用数学合同研究集会,
日本語, オンライン, 国内会議, 2020 年 12 月 20 日
10. 深層フェーズフィールドモデリング
松原 崇, 谷口隆晴
2020 年度応用数学合同研究集会,
日本語, オンライン, 国内会議, 2020 年 12 月 20 日
11. 自然系の連成とシンプレクティック形式
谷口 隆晴
日本応用数理学会環瀬戸内応用数理研究部会第 24 回シンポジウム,
日本語, オンライン, 国内会議, 2020 年 12 月 13 日
12. The Error Analysis of Numerical Integrators for Deep Neural Network Modeling of Differential

Equations

寺川 峻平, 松原 崇, 谷口隆晴

NeurIPS2020 Workshop on Machine Learning and the Physical Sciences (ML4PS),

英語, オンライン, 国内会議, 2020 年 12 月 11 日

13. The parameter variety of unidentifiable state-space models and its applications to analysis of biological systems

小松 瑞果, 谷口 隆晴

Establishing International Research Network of Mathematical Oncology (Fusion of Mathematics and Biology),

英語, 大阪, 国内会議, 2020 年 10 月 26 日

14. 分布系のカオス同期化とニューラルネットワークを用いた秘匿通信システム

陳 鈺涵, 佐野 英樹, 若生 将史, 谷口 隆晴

日本応用数理学会 2020 年度年会,

日本語, オンライン, 国内会議, 2020 年 09 月 08 日

15. 常微分方程式モデルの学習における離散化手法の影響について

寺川 峻平, 松原 崇, 谷口隆晴

日本応用数理学会 2020 年度年会,

日本語, オンライン, 国内会議 2020 年 09 月 08 日

16. ピアノの弦と駒の連成シミュレーションによるエネルギー移動の可視化

寺川峻平, 小松瑞果, 谷口隆晴, 鎌田健二, 和泉沢玄

第 25 回計算工学講演会,

日本語, オンライン, 国内会議, 2020 年 06 月 10 日

■記事（解説/コメント/インタビュー記事/寄稿）

1. 研究開発 DX 始動(下) AI 操る「ロボ科学者」
日本経済新聞, 2021 年 02 月 08 日
2. 深層学習研究の最高位を勝ち取った日本チーム、決め手は異分野研究者のタッグ
日経クロステック インターネットメディア, 2020 年 12 月 23 日

<社会活動>

■所属学会

1. Institute of Electrical and Electronics Engineers
2. 情報処理学会
3. Society for Industrial and Applied Mathematics
4. American Institute of Aeronautics and Astronautics
5. 日本数学会
6. 日本応用数理学会

■学外委員

1. 2019 年 10 月 - 現在, 日本数学会応用数学分科会委員会委員
2. 2015 年 05 月 - 現在, 日本学術会議, 計算音響学小委員会 委員

准教授 加藤 諒 (Ryo KATO)

- ・ 計算社会科学センター/データ分析部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

1. “[Unplanned Purchase of New Products](#),” (coauthor: Takahiro Hoshino), *Journal of Retailing and Consumer Services*, 59, 102397, March 2021
2. “[Semiparametric Bayesian Multiple Imputation for Regression Models with Mixed Continuous-Discrete Covariates](#),” (coauthor: Takahiro Hoshino), *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*, 72(3), pp.803-825, June 2020

□掲載予定論文 (Forthcoming)

1. “[Semiparametric Bayes Instrumental Variable Estimation with Many Weak Instruments](#),” (coauthor: Takahiro Hoshino) *Stat*, Vol.10 (1), e350, forthcoming

■掲載論文 (査読なし)

□掲載論文

1. 「近年の非計画購買に関する研究と今後の展望」『国民経済雑誌』第 223 巻 3 号 pp.71-80 2021 年 3 月

<社会活動>

■所属学会

1. 日本マーケティング・サイエンス学会
2. 日本行動計量学会
3. 日本商業学会
4. 日本消費者行動研究学会

■プログラム委員

- 2021 年度 統計関連学会連合大会 プログラム委員

教授 家森 信善 (Nobuyoshi YAMORI)

- ・ 計算社会科学センター/データベース部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【著 書】

1. [『ベーシック+ \(プラス\) / マクロ経済学の基礎 \(第2 版\)』](#) 中央経済社 2021 年1 月

【編著書】

1. 『地域金融機関と信用保証協会の事業承継の支援』 経済経営研究叢書 (金融研究シリーズ) No.9 神戸大学経済経営研究所 2021 年3 月
2. [『大規模災害リスクと地域企業の事業継続計画—中小企業の強靱化と地域金融機関による支援』](#) 中央経済社 (浜口伸明・野田健太郎と共編) 2020 年9 月
3. [『地域金融機関による事業承継支援と信用保証制度 地域企業の発展に貢献できる地域金融を目指して』](#) 中央経済社 2020 年8 月

【書 評】

1. 『ニッキン』 「事業性評価を起点とした人材紹介」 2021 年 3 月 26 日号
2021 年 3 月 (日本人材機構編著『地域金融機関が担う地方転職—ポスト 2020 の経営人材紹介』 きんざい 2020 年 9 月)
2. 『ニッキン』 「目指したい地域金融がそこにあるが」 2020 年 12 月 4 日号
2020 年 12 月 (山口省蔵・江口晋太郎／著『実践から学ぶ地方創生と地域金融』 学芸出版社 2020 年 9 月)
3. 『ニッキン』 「広がる ESG 金融を理解するために」 2020 年 8 月 28 日号
2020 年 8 月 (水口剛 著『サステナブルファイナンスの時代 ESG/SDGs と債券市場』 きんざい 2019 年)
4. 『金融財政事情』 2020 年 8 月 31 日号 41 頁 2020 年 8 月
(益田安良 著『経済再興のための金融システムの構築』 きんざい 2020)
5. 『旬刊 経理情報』 №1579 2020 年 6 月
(後藤茂之 編著『気候変動リスクへの実務対応』 中央経済社 2020 年)
6. 『ニッキン』 「米銀スタンダードの融資管理とは」 2020 年 5 月 22 日号
2020 年 5 月 (佐藤満著『融資業務再生の処方箋米銀と邦銀の融資管理はどこが違うか』 金融財政 事業研究会 2017 年 7 月)
7. 『季刊 個人金融』 2020 年春号 127-128 頁 2020 年 5 月
(吉野直行監修 上村協子・藤野次雄・重川純子 編集『生活者の金融リテラシー ライフプランとマネーマネジメント』 朝倉書店 2019 年 11 月)

【論文】

■レフェリー付論文

□掲載予定論文 (Forthcoming)

[“The Impact of the First Wave of the COVID-19 Crisis on Small and Medium-sized Enterprises and Credit Guarantee Responses: Early lessons from Japan,”](#) COVID-Economics, Vol.63, pp.186-200, January 2021

■掲載論文（査読なし）

□掲載論文

1. [「最近の関西の地域金融機関の経営の状況」](#) 家森信善編著『マイナス金利環境下における地域金融機関の現状と課題』アジア太平洋研究所（APIR）第一章 14-32 頁 2021 年 3 月
2. コラム：[「金融機能強化法の震災特例を振り返る」](#) 経済産業研究所 2021 年 3 月
[「巻頭言：経営者は危機感だけではなく進むべき道を組織に浸透させよ」](#)
『信金中金月報』2021 年 3・4 月合併号 2-3 頁 2021 年 3 月
3. [「保険教育、保険リテラシーと保険購入行動—リスクに備える手段としての保険への理解を深めるために—」](#) 『保険学雑誌』第 652 号 19-45 頁 2021 年 3 月
4. [「地域の再生における地域金融機関の役割」](#) 『季刊 個人金融』2021 年冬号 2-12 頁 2021 年 2 月
5. コラム：[“Overcome the Coronavirus Crisis and Seize the Opportunity for Business Succession,”](#) Priorities for the Japanese Economy in 2021: Using the COVID-19 Crisis as a Chance to Revive the Japanese Economy, RIETI, February 2021
6. 「ポストコロナ時代に信用金庫に期待すること」『信用金庫新聞』2021 年 1 月 1 日号 2021 年 1 月
7. 「地域銀行の再編は加速するか？進む環境整備を適切に活用せよ」『金融ジャーナル』2021 年 1 月号 84-87 頁 2021 年 1 月
8. [「コロナ危機を乗り越えて、事業承継のチャンスに」](#) 新春特別コラム：新春特別コラム：2021 年の日本経済を読む～コロナ危機を日本経済再生のチャンスに』経済産業研究所（RIETI）2020 年 12 月
9. 「時流 SDGs と金融経済教育の推進」『野村サステナビリティ・クォーターリー』第 1-3 巻 2020 年秋号 2-3 頁 2020 年 12 月
10. 「学会だより日本金融学会 2020 年度秋季大会」『金融ジャーナル』2020 年 12 号 104-107 頁 2020 年 12 月
11. 「損害保険会社の社員の金融リテラシーと金融教育の課題—2018 年と 2019 年の調査結果を中心に—」『損害保険研究』第 82 巻第 3 号 1-34 頁（橋本理博と共著）2020 年 11 月
12. コラム：[“Toward Enhancing SMEs' Resilience against Large-Scale Disasters—Requirements for Increasing the Effectiveness of the SME Resilience Enhancement Act,”](#) RIETI, October 2020
13. [「巻頭言：信用金庫の事業承継支援へのヒント」](#) 『信金中金月報』2-3 頁 2020 年 9 月
14. 巻頭対談「コロナ禍における企業支援には金融機関と税理士の『深度ある連携』が不可欠」『TKC』4-11 頁 2020 年 8 月号

15. コラム「[大規模災害に対する中小企業の強靱化を目指して—中小企業強靱化法の実効性を高めるために必要なこと—](#)」独立行政法人経済産業研究所 2020 年 8 月
16. 「[金融リテラシーの高さと金融行動—借入行動と証券投資—](#)」『（日本証券取引所グループ）先物・オプションレポート』vol.37 No.7 1-7 頁（上山仁恵と共著）2020 年 7 月
17. 「顧客との『共通価値の創造』こそ、規制緩和の重要な視点」『金融財政事情』20—23 頁 2020 年 7 月
18. 「コロナ危機で問われる事業性評価のカー金融円滑化法の教訓を生かせ」『金融ジャーナル』14-17 頁 2020 年 7 月
19. 「[若者の金融リテラシーと学校における金融経済教育—新しい学習指導要領の円滑な導入に協力を—](#)」『日本証券取引所グループ 先物・オプションレポート』vol.32 No.6 1-6 頁 2020 年 6 月

□未掲載論文 (DP/WP)

1. 「地域金融機関の取り組みは地域の創業を増やせるのか—金融機関による創業支援に対する企業の意識調査—」神戸大学経済経営研究所ディスカッション・ペーパー No.DP2021-J06 97 頁（永田邦和、近藤万峰、奥田真之と共著）2021 年 3 月
2. 「金融機関の経営統合と地域金融—『金融機関の経営統合に関する中小企業の意識調査』の概要 の報告—」神戸大学経済経営研究所ディスカッション・ペーパー No.DP2021-J04 75 頁（播磨谷浩三、小塚匡文、海野晋悟と共著）2021 年 2 月
3. 「金融機関の人材支援に対する中小企業の期待と不安—2020 年『中小企業に対する金融機関の人材支援に関する調査』の結果の概要—」神戸大学経済経営研究所ディスカッション・ペーパー No.DP2021-J01 68 頁（米田耕士と共著）2021 年 1 月
4. 「コロナ禍の第一波が中小企業に与えた影響と信用保証の対応」神戸大学経済経営研究所ディスカッション・ペーパー No.DP2020-J16 27 頁（相澤朋子と共著）2020 年 10 月
5. 「2019 年実施の若年および中堅の金融機関職員の意識調査の結果概要 —性別および年代別の特徴を中心に—」神戸大学経済経営研究所ディスカッション・ペーパー No.DP2020-J10 85 頁（米田耕士と共著）2020 年 6 月
6. 「責任共有制度のもとでの金融機関の信用保証利用態度—地域金融機関支店長アンケートに基づく分析—」RIETI Discussion Paper Series 20-J-020 経済産業研究所 41 頁 2020 年 4 月

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演）

1. （基調講演）「金融機関による中小企業支援への期待」東海地区信用金庫・令和 2 年度融資 業務事例発表会 信金中金名古屋支店 2021 年 3 月 16 日
2. （講演）「ポストコロナ社会における金融機関と企業を考える」第 25 回神戸経済経営フォーラム 2021 年 2 月 3 日（オンライン開催）

3. (基調講演)「地域の発展に貢献できる地域金融機関をめざして」Regional Banking Summit(Re:ing/SUM)×日経地方創生フォーラム 2020 年 12 月 20 日(オンライン開催)
4. (講演)「兵庫県信用保証協会調査から見た事業承継支援の現状と課題」『地域金融機関による事業承継支援と信用保証制度』刊行記念シンポジウム「金融機関と信用保証協会の事業承継支援—現状とポストコロナ時代の課題—」2020 年 10 月 19 日(オンライン開催)
5. (講演)「保険教育、保険リテラシーと保険購入行動—リスクに備える手段としての保険への理解を深めるために—」日本保険学会令和 2 年度大会 シンポジウム「リスク認知と金融リテラシー」2020 年 10 月 17 日(オンライン開催)
6. (講演) "Financial Education, Financial Literacy, and Financial Behavior"
日本経済学会春季大会 2020 年 5 月 30 日

■報告(学会報告/会議報告)

1. (発表)「ポストコロナにおける地域企業の事業継続支援」兵庫県議会産業労働常任委員会(特定テーマに関する調査研究)兵庫県議会第 4 委員会室 2021 年 2 月 12 日

■主催/司会/座長/討論者/パネリスト/モデレーター

1. (パネリスト)「『知財を切り口とした中小企業の事業成長に向けて』～地域金融機関による本業支援への期待～」令和 2 年度 特許庁中小企業知財経営支援金融機能活用促進事業知財金融ウェブフォーラム 知的財産を切り口とした中小企業の成長に向けて 2021 年 3 月 15 日(オンライン開催)
2. (パネリスト)「審査委員によるパネル討論(金融部門)」環境省第 2 回「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」表彰式 2021 年 2 月 24 日
3. (共同主催) 2020 年度 Household Finance and Economics コンファレンス 2021 年 1 月 23 日(オンライン開催)
4. (討論者)阿萬弘行氏・大森孝造氏・小川一仁氏・本西泰三氏:「金融リテラシーと投資信託」日本金融学会 2020 年度秋季大会 2020 年 10 月 31 日
5. (司会)パネルディスカッション:「ポストコロナ時代の円滑な事業承継実現に向けての地域金融の役割」『地域金融機関による事業承継支援と信用保証制度』刊行記念シンポジウム「金融機関と信用保証協会の事業承継支援—現状とポストコロナ時代の課題—」2020 年 10 月 19 日(オンライン開催)
6. (コメンター)「特別セッションI 金融問題のフロンティア」日本 FP 学会第 21 回大会 大手町サンケイプラザ 2020 年 9 月 5 日

■記事(解説/コメント/インタビュー記事/寄稿)

1. アジア太平洋研究所 (APIR)『マイナス金利環境下における地域金融機関の現状と課題』169 頁 2021 年 3 月

■その他

1. (勉強会講師)「地域銀行の再編と企業の意識」経済産業省製造産業局勉強会 2021 年 1 月 21 日(オンライン開催)

＜社会活動＞

■所属学会

1. 日本経済学会
2. 生活経済学会
3. 日本保険学会
4. 日本FP学会
5. 日本学術会議
6. 日本金融学会

■学会役員

1. 2019 年 日本経済学会連合評議員（生活経済学会代表）（～現在）
2. 2019 年 生活経済学会 学術交流委員会委員長（～現在）
3. 2018 年 日本保険学会理事（～現在）
4. 2018 年 日本保険学会・学会賞選考委員会委員（～2020 年）
5. 2015 年 日本FP学会理事（～現在）
6. 2012 年 日本経済学会代議員（～2016）（2020 年～現在）
7. 2011 年 日本学術会議連携会員（～現在）
8. 2009 年 生活経済学会理事（～2015 年）（2017 年～現在）
9. 2008 年 日本金融学会常任理事（～2014 年）（2016 年～現在）
10. 2006 年 日本金融学会理事（～2014 年）（2016 年～現在）

■プログラム委員

1. 2020 年10 月 日本金融学会2020 年度秋季大会 オンライン開催

■学外委員その他

- 2021 年 中小企業政策審議会臨時委員（～2022 年 2 月）
- 2021 年 日本証券業協会「金融経済教育を推進する研究会」委員（～2023 年 3 月）
- 2021 年 東海財務局・金融行政アドバイザー（～2023 年 3 月）
- 2021 年 中小企業庁商工中金の経営及び危機対応業務に関する評価委員会（～2023 年 1 月）
- 2021 年 銀行業務検定協会銀行業務検定試験・事業性評価検定委員長（～2022 年 12 月）
- 2020 年 東京商品取引所 市場取引監視委員会委員（～2022 年 11 月）
- 2020 年 兵庫県 信用保証協会運営等有識者会議委員（～2021 年 3 月）
- 2020 年 金融庁参与（～2021 年 3 月）
- 2020 年 金融審議会 銀行制度等ワーキンググループ委員（～2020 年 12 月）
- 2020 年 愛知県 愛知 BCP モデル策定委員会・委員長（2020 年 8 月～11 月）
- 2020 年 内閣府「令和元年度地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取り組み事例」選定に係る審査委員（～2020 年 3 月）
- 2020 年 全国銀行学術研究振興財団選考委員（～2022 年 3 月）
- 2020 年 野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センターアドバイザー（～2021 年 3 月）
- 2020 年 アジア太平洋研究所 リサーチリーダー兼上席研究員（～2021 年 3 月）
- 2020 年 名古屋大学客員教授（～2021 年 3 月 31 日）
- 2020 年 公益財団法人・兼松貿易研究基金理事（～2022 年 6 月）

- 2020 年 全国信用組合中央協会 信用組合の将来を考える有識者会議メンバー（～2021 年 7 月）
- 2020 年 環境省事業 ESG 地域金融タスクフォース委員（～2021 年 3 月）
- 2020 年 環境省事業 ESG ファイナンス・アワード・ジャパン（第 2 回）選定委員会（～2021 年 3 月）
- 2020 年 全国信用組合中央協会 信用組合の将来を考える有識者会議メンバー（～2021 年 7 月）
- 2020 年 損害保険事業総合研究所 損害保険研究費助成制度選考委員（～2021 年 3 月）
- 2020 年 損害保険事業総合研究所 損害保険講座講師（～2021 年 3 月）
- 2020 年 特許庁事業「令和 2 年度中小企業知財経営支援機能 活用促進事業」知財金融委員会委員長（～2021 年 3 月）
- 2020 年 日本商品委託者保護基金 普及啓発等事業検討評価委員会委員（～2022 年 7 月）
- 2019 年 財務省・財政制度等審議会専門委員（財政投融资分科会所属）（～2021 年 3 月）
- 2019 年 日本証券業協会「金融経済教育を推進する研究会」委員（再任～2021 年 3 月）
- 2019 年 信金中央金庫・地域・中小企業研究所「信金中金月報」編集委員（～2021 年 8 月）
- 2019 年 中小企業庁・中小企業政策審議会臨時委員（～2020 年 8 月）
- 2019 年 京都市指定金融機関選定委員会委員（～2021 年 8 月）
- 2019 年 名古屋証券取引所アドバイザーリーコミッティー委員（再任～2020 年 7 月）
- 2019 年 企業金融・企業ダイナミクス研究会プロジェクトメンバー（～2021 年 10 月 31 日）

＜国際交流活動＞

1. Jianjun SUN, School of Economics and Management, Hainan University, Haikou, China との中国金融に関する共同研究（Emerging Markets Finance and Trade 誌に2019年に共著論文を発表）
2. Farkhanda Shamim, Department of Economics and Finance, University of Bahrain, Sakhir, Bahrain との金融の電子化に関する共同研究（Journal of Economic Studies 誌に2017年に共著論文を発表）

教授 島村 靖治 (Yasuharu SHIMAMURA)

- ・ 計算社会科学センター/データベース部門
 - ・ 大学院国際協力研究科
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文（査読あり）

1. [Information Acquisition and the Adoption of a New Rice Variety towards the Development of Sustainable Agriculture in Rural Villages in Central Vietnam](#)
Quynh Anh Le Thi, Yasuharu Shimamura, Hiroyuki Yamada
Elsevier BV, World Development Perspectives, 20, 100262 - 100262, 2020 年 12 月

■掲載予定論文（Forthcoming）

1. [Information Acquisition and Conservation Farming Practices for Sustainable Agriculture in Rural Vietnam](#)
Quynh Anh Le Thi, Yasuharu Shimamura, Hiroyuki Yamada
SEARCA, Asian Journal of Agriculture and Development
2. The Effects of Women's Self-help Group Participation on Domestic Violence in Andhra Pradesh, India
Nozomi Sato, Yasuharu Shimamura, Sasana Lastarria-Cornhiel
Routledge, Feminist Economics

■未掲載論文（DP/WP）

1. The Impact of Improved Access to Safe Water on Childhood Health, Schooling and Time Allocation in Rural Zambia
Yasuharu Shimamura, Satoshi Shimizutani, Shimpei Taguchi, Hiroyuki Yamada
Keio-IES Discussion Paper Series 2020-022, Institute for Economics Studies, Keio University.
2. Improved Access to Safe Water: Effects on Adult Health and Time Reallocation in Rural Zambia
Yasuharu Shimamura, Satoshi Shimizutani, Shimpei Taguchi, Hiroyuki Yamada
Keio-IES Discussion Paper Series 2020-024, Institute for Economics Studies, Keio University.

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演）

1. (招待講演)新興国の医療保障制度の構築に向けてーベトナムの医療保険制度に関する調査研究ー
島村靖治 財務総合政策研究所 ASEAN ワークショップ, 日本語, 2020 年 06 月 29 日

■報告（学会報告/会議報告）

1. ベトナムの公的医療保険市場における加入率の分析 ―国民皆保険化の達成に向けてー
島村靖治 国際開発学会第 31 回全国大会, 日本語, 2020 年 12 月 06 日

■主催/司会/座長/討論者/パネリスト/モデレーター

1. 途上国におけるミクロ実証分析：家計調査データを用いた研究事例
企画セッション座長
島村靖治 国際開発学会第31回全国大会,日本語, 2020年12月06日

<社会活動>

■所属学会

1. 開発経済学会
2. 日本国際保健医療学会
3. 国際開発学会
4. 日本経済学会

<国際交流活動>

- JICA（国際協力機構）研究所との共同研究
「ミャンマーにおける都市給水事業に関する実証研究」をアジア工科大学院と共同で実施
- JICA（国際協力機構）研究所との共同研究
「ザンビアにおける深井戸建設事業に関する実証研究」を慶応大学と共同で実施

准教授 高槻 泰郎 (Yasuo TAKATSUKI)

- ・ 計算社会科学センター/データベース部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【著書（分担執筆）】

1. 「大坂米市場の形成と気候変動」(柴本昌彦、村和明との共著) 中塚武監修／中塚武・鎌谷かおる・佐野雅規・伊藤啓介・對馬あかね編 [『気候変動から読みなおす日本史第1巻 新しい気候観と日本史の新たな可能性』臨戦書店](#) 第4章 188－193 頁 2021 年2 月
2. 「近世日本の中央市場と気候変動」(柴本昌彦、村和明との共著) 中塚武監修／鎌谷かおる・渡辺浩一編 [『気候変動から読みなおす日本史第5巻 気候変動から近世をみなおすー数量・システム・技術』臨川書店](#) 第5章 125-151 頁 2020 年11 月
3. 「近世大坂米市場における価格形成の安定性」鎮目雅人編 [『信用貨幣の生成と展開 近世～現代の歴史実証』慶應義塾大学出版会](#) 第5章 183-218 頁 2020 年8 月

【論文】

■掲載論文（査読なし）

□掲載論文

1. [「デリバティブ取引はいかにして生まれたか」『経済セミナー』第718号](#)
2021 年3 月 111-116 頁
2. [「金融の街・大坂はいかにして生まれたか」『経済セミナー』第717号](#)
2021 年1 月 81-87 頁
3. [「近世日本経済の概観」『経済セミナー』第716号](#)
2020 年11 月 70-76 頁

□未掲載論文 (DP/WP)

1. “A Neglected Japanese Efficient Market Theorist: Yamagata Bantō (1748–1821) and His 1806 Writing,” (with Taro Hisamatsu), *RIEB Discussion Paper Series*, No.DP2021-04, Kobe University, March 2021

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演）

1. (招待講演) 全日本通訳案内士連盟業務研修 協同組合全日本通訳案内士連盟
「知られざる大坂豪商の世界」(オンライン開催) 2020 年9 月14 日

2. (招待講演)全日本通訳案内士連盟業務研修 協同組合全日本通訳案内士連盟
「金融の町・大坂」(オンライン開催) 2020 年7 月11 日

■報告(学会報告/会議報告)

1. (セミナー報告)日本金融学会歴史部会 日本金融学会 2021 年3 月13 日「小西新右衛門の大名貸と藩債処分」(オンライン開催)
2. (セミナー報告)神戸大学金融研究会「信用貨幣の生成と展開：近世～近代移行期日本の事例から」神戸大学経済経営研究所 2020 年12 月12 日「近世大坂米市場における価格形成の安定性」(オンライン開催)
3. (報告)第3 回「信用の人類史」研究会 サントリー文化財団 2020 年10 月28 日「近世金融市場を支えた重層的秩序—大坂市場を中心に—」(オンライン開催)

■記事(解説/コメント/インタビュー記事/寄稿)

1. インタビュー記事「豪商淀屋の米市継承なるか 蔵屋敷からデリバティブへ」『日本経済新聞』(大阪夕刊、29 ページおよび電子版「時を刻む」)(2021 年3 月4 日付)
2. コメント記事「新撰組や長州へ懐深い融資 豪商・加島屋、伝わる借用書」『日本経済新聞』(大阪夕刊、9 ページおよび電子版「時を刻む」)(2020 年6 月4 日付)

■その他

1. (ポスター発表)
 - ・EGU General Assembly 2020 2020 年5 月4 日“Reconstruction of solar radiation based on historical weather records in Japan; Climatic condition and market economy in the famine of 1830s”
2. (取材協力)
 - ・日本経済新聞(夕刊)、「豪商淀屋の米市継承なるか 蔵屋敷からデリバティブへ」、電子版「時を刻む」、2021 年3 月4 日付
 - ・テレビ番組 NHK BS4K 浮世絵 EDO-LIFE 福袋「驚き！江戸の算術パワー」2020 年10 月3 日
 - ・日本経済新聞(夕刊)、「新撰組や長州へ懐深い融資豪商・加島屋、伝わる借用書」、電子版「時を刻む」、2020 年6 月4 日付
3. (メディア掲載)
 - ・日本経済新聞(朝刊)、「どうなる来年の経済 慶応義塾大学教授 土居丈朗」、2020 年12 月19 日※記事内で「経済セミナー」12 月・1 月号での研究内容が引用された。
 - ・著書『大坂堂島米市場』が朝日新聞「天声人語」にて引用される(「相場情報の停止」、2020 年10 月2 日付朝刊および電子版)
 - ・亜細亜大学の2020 年度入試問題(国語)に著書『大坂堂島米市場』が採用される

<社会活動>

■所属学会

1. 日本学術会議

2. 政治経済学・経済史学会

■学外委員その他

編集委員

- 政治経済学・経済史学会（2014年12月1日～）
- 日本経済史研究所（2019年6月1日～）

学外委員

- 日本学術会議連携会員（2017年10月1日～）
- 日本学術会議若手アカデミー（2017年10月1日～）

＜国際交流活動＞

- ・「前近代経済における公共投資の実施形態に関する清朝中国と徳川日本の比較研究」
SNG Tuan Hwee（シンガポール国立大学）と共同研究

特命講師 小代 薫 (Kaoru KOSHIRO)

- ・ 計算社会科学センター/データベース部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【著書（分担執筆）】

1. 「都市の歴史に学ぶ未来のまちづくり」『美しい未来をつくるひとのための15のはなし』神戸大学出版会 pp.24-32 2021年3月

<学会報告等研究活動>

■運営（コーディネーター）

1. (企画運営 プロデューサー／ディレクター)「科学者やエンジニアと共に事業構想する場をつくる防災減災の国際連続ワークショップ KOBE PEER WORKSHOP "MIRAI BOSAI"」(オンライン開催) 2021年3月

■記事（解説/コメント/インタビュー記事/寄稿）

1. 神戸新聞社 神戸大学コラム 安心の素 50「住む街の特徴を知ろう」
2020年11月16日

<社会活動>

■所属学会

1. 日本建築学会
2. 応用地域学会

■雑誌編集

- ・ 学術論文レフリー
『日本建築学会計画系論文集』

■学外委員その他

1. NPO 法人UnknownKobe 副理事長
2. アーバンデザインセンター神戸 078(UDC078) 理事
3. 兵庫県建築士会 一級建築士
4. 新修神戸市史「生活文化編」執筆委員

■その他

1. 監修「JR 三ノ宮駅南側仮囲い『神戸の歴史と今と未来』グラフィック」
JR 西日本旅客鉄道株式 会社 2021年3月
2. 計画「和歌山市民図書館と和歌山市民会館のリノベーションを中心とした地区再生まちづくり構想」 2020年4月

特命講師 田中 克幸 (Katsuyuki TANAKA)

- ・ 計算社会科学研究センター/データベース部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

■ 掲載論文（査読なし）

□ 未掲載論文 (DP/WP)

1. “Measuring Technological Competition among Big Five Using Patent Data: A Systematic and Scalable Approach Based on Information Retrieval Technology,” (with Takashi Kamihigashi), *RIEB Discussion Paper Series*, No.DP2021-06, Kobe University, March 2021

VI. 今後の展望と方針

本センター（CCSS）は、2018年4月に全学基幹研究推進組織として設置されて以降の短期間において、国内外から著名な研究者を招聘し、CCSS School、CCSS Workshop、計算社会科学ワークショップ等の開催を通じ、国内外の研究者コミュニティに貢献するとともに、研究者を目指す学生に対して教育機会を提供してきた。また、独自のリサーチフェロー制度を設立し、現在、国内外18名の著名研究者がリサーチフェローとなっており、研究者コミュニティとの連携強化に努めてきた。さらに、計算社会科学初の国際査読ジャーナルである「**Journal of Computational Social Science**」の編集を通じ、国際レベルでの計算社会科学研究の発展に貢献している。これらの活動により、本センターは、国内唯一の計算社会科学に特化した研究センターであるだけでなく、計算社会科学における国際的研究拠点として認知されつつある。

計算社会科学が社会的に注目される中、本センターの重要性が今後さらに高まることは確実であるが、以下3つの課題があると考えられる。

1. 予算の獲得

現在独自の予算がない状態であり、外部資金により運営されている活動が多い。ただし、本センターの設立目的自体が外部資金獲得を視野に入れたものであるため、今後、外部資金獲得へ向けた取り組みをさらに強化していく方針である。

2. 学内の他組織との連携

学内他組織、特に、数理データサイエンスセンター、計算科学研究センター、及び情報基盤センターとの連携を強化し、外部資金の獲得等に繋げていく方針である。一方、本センターを含め、これらのセンターには明確な役割分担があるため、学内外における情報発信を強化し、理解を高める取り組みも進めていく方針である。これらの取り組みにより、「計算系・情報系に強い神戸大学」というブランド戦略にも貢献したい。

3. 若手人材の育成

長期的な人事方針に関しては先端経済経営研究学域の中で議論する必要があるが、特命を含めた任期付若手研究者については、本センターには人材育成の実績がある。また、先端経済経営研究学域で行った女性限定公募において、計算社会科学も対象分野となったため、来年度に向けて若手女性人材を採用できる可能性がある。今後は、予算も人事ポイントの状況も厳しい中、外部資金による特命教員等を中心に、若手人材の採用・育成に努めたい。

本センターでは、上記3課題に取り組むとともに、現在、新型コロナウイルスに関する研究プロジェクトも進めている。新型コロナウイルスに関しても計算社会科学が注目されている中、本センターでは、社会に貢献できる研究もさらに強化していく方針である。